

第六十四回帝國議會
衆議院

恩給法中改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案

恩給法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年三月二日(木曜日)午後二時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 津崎 尙武君

理事喜多 孝治君 理事宮澤 裕君

理事山橋 儀重君

八角 三郎君 中村 嘉壽君

川口 義久君 守屋 榮夫君

小林 錡君 江藤源九郎君

吉田 頼明君 林 路一君

匹田 銳吉君 添田敬一郎君

横山金太郎君 後藤 亮一君

二月二十八日委員出稼助衛君及中村嘉壽君
辭任ニ付其ノ補闕トシテ中村嘉壽君及川口
義久君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 樋貝 詮三君

大藏省主計局長 藤井 眞信君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ

陸軍歩兵大佐 中井良太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

○津崎委員長 只今カラ會議ヲ開キ質疑ヲ
繼續致シマス

○江藤委員 少シ諄クナルヤウデアリマス
ガ、遺族ノ扶助料ニ付テ重ネテ御尋シタイ
ト思フノデアリマス、先日來局長ノ御説明
ヲ承リマシタルデアリマスルガ、其中デ恩
給ト云フモノハ、公務員ガ公務ニ從事シテ

居ッタ爲ニ能力減損ヲ致シ、之ニ依ッテ生ジ

タ不利益ヲ將來ニ向ッテ補填スル爲ニ給付

セラレルモノデアッデ、生活ノ保障デハナイ

ト云フヤウナ意味ノ御説明ガアッタノデア

リマス、扶助料ノ場合ハ稍、違フノデヤナ

イカト思フノデアリマス、同ジヤウナモノ

デアリマスルガ、扶助料ノ場合ハ、即チ公

務員ガ公務ニ從事スルコトニ依ッテ死歿シ

タ場合デアリマスルカラ、其時ノ不利益ト

云フモノハ、其最小限度ノ補填ハ、其遺族

ノ生活ヲ保障スルコト云フコトデナイカト思

フノデアリマス、公務員ガ生キテ居リマス

レバ、其家族ハ公務員ニ依ッテ家族ノ生活

ガ保障サレルノデアリマス、ソレガ死シタ

ノデアリマスルカラシテ、其不利益ノ最小

限度ト云フモノガ、遺族ノ生活ヲ保障スル

ト云フコトデハナイカト思フノデアリマ
ス、即チ扶助料ノ場合ハ、公務員ガ受クル
恩給ノヤウニ、其生活費ノ補填デナクシテ、
遺族ノ生活ヲ保障スルモノデナケレバナラ
ヌト思フノデアリマスルガ、御見解ハ如何
デアリマスルカ

○樋貝政府委員 扶助料ニ於キマシテモ、

公務員自身ガ受ケマス恩給ニ於キマシテ

モ、其性質ハ違ッテ居ラヌト考ヘテ居リマ

ス、ソレハ元來遺族ハ其公務員ガ生存シ

テ居リマス時ニハ、其公務員ノ收入ニ依リ

マシテ生活ヲシテ居ルト云フコトガ前提ニ

サレマシテ、此扶助料ガ考ヘラレテ居ルノ

デアリマス、ソレデ公務員ガ生キテ居ル間、

或ル一定ノ收入ガアリマシタ場合ニ、死亡

シタカラト云ウテ、其收入ガ殖エルベキ性

質ノモノデハ無論ナイノデゴザイマシテ、

生キテ居ッタ時ノ、其收入ノ一定ノ比率ヲ以

チマシテ扶助料ノ額ガ決マルベキコトガ、

扶助料ノ性質カラ云ヒマシテ當然ノコト、

言ハナケレバナリマセヌ、現在マデノ總テ

ノ恩給法ヲ通ジマシテモ、此扶助料ハ必ズ

公務員ノ受クベキ所ノ恩給、又ハ其公務員

ガ未ダ恩給ヲ受クルコトナシニ、直接在職
中死ニマシタ場合ニハ、其在職中ノ收入、經
濟的地位ト申シマセウカ、ソレヲ標準トシ

マシテ、ソレニ對スル或ル割合ヲ以テ扶助
料ガ何時モ出來テ參リマス、サウ云フヤウ
ナ譯ニ、扶助料モ亦公務員ノ能力減損ノ補

填ト云フコトヲ前提ニ致シマシテ扶助料ガ

出來テ參リマスノデ、扶助料ニ至リマシテ

直チニ其性質ガ變ルモノデハナイト思ヒマ

ス、此間モ恩給ニ付キマシテ、能力減損ノ

補填デアルト申シマシテ、生活ヲ保障スル

モノデハナイト云フヤウナ意味ノコトヲ申

上ゲマシタガ、固ヨリ其能力ガ時ニ減損シ

テ居ナケレバ、之ニ對シマシテハ別ニ補填

ヲシテ行ク必要ハナイシ、又サウ能力ガ減

損シテ居ナケレバ、其現在能力ニ依リマシ

テ生活ガ保障サレテ行ク、行カヌ場合モア

リマセウケレドモ、大體ニ於テ行ク、斯ウ

云フ風ニ考ヘラレマスカラ、能力減損ノ補

填ト云フコトモ、生活ノ保障ト云ヒマスコ

トモ、實ハ全然違ッタ意味デハナイノデア

リマス、唯恩給全體ト致シマシテハ、サウ

云フ風ニ能力補填ト云フコトヲ中心ニ致シ

マシテ、其建前ガ出來テ居ルト云フ次第デアリマス

○江藤委員 只今ノ御説明ニ依ルト、斯ウ云フヤウニ解釋セラレルヤウニモ思ヒマスガ如何デアリマセウカ、扶助料ノ場合ハ、公務員ノ能力補填ガ遺族ノ生活ヲ保障スル程度ニ及ンデ居ルト云フ風ニ解釋サレマ스가、ソレデ宜シウゴザイマセウカ

○樋貝政府委員 直チニサウハ參リマセヌノデ、公務員ノ能力減損ヲ補填スルト云フコトデ恩給ガ出來テ居リマシテ、ソレガ扶助料ニ移リマシテモ、矢張公務員ノ能力ト云フモノヲ前提ニシテ扶助料ヲ考ヘナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、扶助料ニ變ル時ニ、直チニ生活ノ全保障ト云フコトニハナッテ參リマセヌ、隨テ正確ニ申セバ、公務員ノ殘存能力ガ十分ニアラナラバ、サウ云フ者ニ對シテハ扶助料ヲヤラナクテモ宜イシ、又サウ云フヤウナデアレバ、其生存中ニ、具體的ニ申セバ貯蓄スルナリ、遺族ノ爲ニ或ル計ヲスルナリシテ參レル筈デアリマスカラ、扶助料モヤラナクテモ宜イト云フ譯デアリマセウシ、サウ云フヤウニ參ラナカッタ爲ニ扶助料ヲヤルノデアリマスカラ、何時モ能力減損ト云フコト、扶助料ト云フモノトハ、並行ト申スカ、或ル割

合ヲ保ッテ行クヤウニナラザルヲ得マセヌ

○江藤委員 大體分リマシタガ、軍人ノ戰死シタ場合ノ扶助料ノ如キ、公務員トシテ在職シテ居ル間ニ貯蓄ヲシテ、其遺族ノ爲ニ後圖ヲ計ルト云フヤウナコトノ出來ナイ場合デアリマス、其減損ノ補填ノ割合ガ非常ニ多クナルカト思ハレマス、サウ云フ意味合ニ於テノ扶助料、戰死者等ノ扶助料ハ、一般ノ公務員ガ平病デ死ニマシタ場合ノ扶助料ト、其性質ヲ大ニ異ニ致シマシテ、其扶助料ニ依ッテ生活ノ或ル程度マデノ保障ヲシテヤラナケレバナラヌト考ヘマ스가、政府ニ於カレテハ扶助料ノ額ヲ御決メニナル上ニ於テ、サウ云フ戰死者等ノ扶助料ノ場合ニハ、ソレ等ノ遺族ノ生活ヲ或ル程度マデ保障スルト云フ意味合ノ下ニ、其額ヲ御決メニナルト云フ御考ハアリマセヌカ

○樋貝政府委員 御説ノ如クニ、戰死又ハ其他ノ公務ノ爲メ死亡ノ場合ニ於キマシテハ、現在モ扶助料ノ額ヲ一般平病デ死ニマシタ場合ト違ヘテ居リマス、公務員ガ能力減損ヲスルノハ大別致スト二種類アリマシテ、普通在職年數長キニ互ッテ在職シテ、老後恩給ヲ貰フヤウナ者ハ、徐々ニ其能力ヲ失ッテ參リマス、ソレカラ戰死其他公務ノ爲メ死亡致スヤウナ場合ハ、急激ニ其能力ヲ

失フ場合デアリマス、増加恩給ヲ貰フヤウナ場合モ亦ソレデ、戰死ノ場合ハ其極端ナモノニナリマス、隨テ其老後ノ計ヲ爲ストカ、將來ノ遺族ノ爲ニモ貯蓄スルト云フヤウナ餘裕ハナイ譯デアリマスカラ、ソコデ現在デモ普通ノ原因デ死亡致シマシタ時ニハ、扶助料ハ公務員ノ受ケル普通恩給ノ半分デアルニモ拘ラズ、戰死ノ場合ナラバソレヲ同額十分ノ十マデ參リマス、ソレカラ普通ノ公務ニ依リマス場合ナラバ十分ノ八マデ參ルト云フ風ニ増加致シテ居ルヤウナ次第デ、其點ハ考慮ニ入レテ置キマス

○江藤委員 次ハ現行法ニ依リマスルト、戰死シタ者ノ遺族ノ扶助料ハ、上級者ニ於テハサウデモアリマセヌガ、下級者ニ於キマシテハ長年勤續シテ普通恩給ヲ受ケテ、平病デ死歿シタ者ノ扶助料ヨリモ少額デアルト云フ不合理ナ點ガ現レテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト、第一號表ヲ御覽ニナリマスルト、ソレガ明瞭ニ分ルノデアリマスルガ、大佐ノ恩給ヲ考ヘテ見マスルト云フト、大佐ニナルノニハドウシテモ在職年數ハ三十年位ハ掛リマセウ、サウ致シマスト大佐ガ戰死致シマスレバ、扶助料トシテ二千百十三圓ト云フモノガ貰ヘルノデアリマス、是ガ五十年勤續シタト云フ場合

デアリマス、其恩給額ガ二千七百二十三圓デアリマスカラ、丁度約七分強ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、是ガ私共兵卒ノ場合ヲ考ヘテ見マスルト——兵卒デアリマスカラソシナ場合ハナイト思ヒマスガ、表ニ上ッテ居ルノデアリマスカラ、表ノ上カラ考ヘテ見タイ、兵卒ガ假ニ五十年勤續致シタト斯ウ考ヘテ見マスルト、三百八十四圓、普通恩給デアリマス、是ハ平病デ死スト云フト其半額デアリマスカラシテ、百九十二圓ト云フコトニナル、戰死シタ場合ハ百五十圓デアル、寧ロ長ク生キテ居ッタ方が餘計貰ヘル、斯ウ云フヤウナコトニモナルノデアリマス、而シテ其比率ニ至リマシテモ非常ニ兵卒ノ場合ニハ惡イノデアリマス、僅ニ三分九厘ト云フヤウナコトニナルノデアリマスカラシテ、是等ノ點ヲ考ヘテ見マシテモ、佐官以上ノ者ニ對シテハ是ハモウ殖ス必要ハナイト思フノデアリマス、併ナガラ兵卒ノ扶助料、是ハ前回ニモ度々申上ゲタヤウニ、僅ニ一箇月十二圓五十錢トカ、十五圓トカ云フヤウナ少額ノモノデアリマシテ、局長モ御認ニナリマシタヤウニ、金持ノ兵卒モ澤山ゴザイマスカラ——澤山モゴザイマセヌガ、多少ハゴザイマス、是等ノ點ニ付テハ別ニ議論ハアリマセヌケ

レドモ、眞ニ國家ノ爲ニ杖トモ柱トモ思フ者ヲ戰死セシメテ、サウシテ後ノ遺族ガ食フニ困テ居ルト云フ者モ亦アルノデアリマスカラ、是等ニ對シテ、ハドウシテモ食ッテ生キルト云フダケノモノハ與ヘナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、八角委員モ強ク御議論ニナッタ次第デアリマスルガ、此點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○樞貝政府委員 只今御尋ノ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ決シテソレハ矛盾デハナイト考ヘテ居リマス、只今御舉ゲニナッタ例ハ兵卒ノ遺族ノ扶助料ハ非常ニ少イ、戰死致シマシテモ其額ハ、例ヘバ最下級ノ者ニ於キマシテハ百五十圓、一寸其以上ニナルカモ知レマセヌガ、若シ二等卒デ其儘ニ居ッタトスレバ、サウナルコトカト考ヘテ居リマス、大佐ノ例ヲ舉ゲラレマシテ、例ヘバ大佐ガ三十年在職シタ其者ガ平病デ死ンダ場合ニハ、第一號表ノ額ニ依リマスト、二千百十三圓ノソレノ半分デアリマスカラ、約千圓ト云フ扶助料ガ平病死デモ大佐ノ遺族ハ貰ヘル、戰死致シマシテモ兵卒ノ分ニ付テハ百五十圓——百五十圓ト云フノハ最低デアリマシテ、事實百五十圓ナドハアリマセヌ——ト云フコトニナルヂヤナ

イカ、斯ウ云フヤウナ御趣旨カト思ヒマスガ、是ハ兵卒ガ皆將來大佐ニナリ得ルノダト云フコトヲ前提ト致シマスレバ、將ニサウ云フコトモ考ヘラレル、將來大佐ニナツテ死ネルモノヲ早ク死ンデシマッタカラト云フコトモ考ヘラレルカモ知レナイガ、恩給デ將來何處マデ伸ビルモノダッタラウト云フコトヲ豫想スルコトハ、少クモ恩給ト官ガ皆大臣ニナルト云フコトヲ豫想シテ大巨ノ恩給、扶助料ヲヤルト云フコトハ、極端ナ例ヲ假ニ舉ゲルト致シマスサウ云フ譯デ、將來ノコトヲソレ程見込ムコトガ出來マセヌカラ、其出來上リマシタ事實ヲ基礎ニシテ行クヨリ外仕方ガナイト云フコトニナリマス、今申シマシタヤウニ、兵卒ハ兵卒デ、大佐ハ大佐デ、普通ノ死亡ノ場合ト戰死ノ場合ト、之ヲ比較シテ行キマセヌケレバ困ルト思ヒマス、サウ云フ事情ガアリマスカラ、只今ノ必シモ恩給法ノ出來損ヒトハ考ヘテ居リマセヌ

○江藤委員 私ノ御尋シタコトニ、尋ネ方ガ悪い結果ダラウト思ヒマスガ、少シ御答ガ當ッテ居ラナカッタノデアリマス、私ノ申シマスノハ、大佐ノ場合ト兵卒ノ場合トノ比較ヲ申シタノデアリマス、三十年ト云

フノモ戰死シタ場合ヲ言ウタノデアリマス、無論兵卒ガ皆大將ニナルモノトシテ恩給ヲ要求シテ居ルノデハナイノデアリマス、最モ分リ易ク考ヘテ見マス、此表ニ依リマス、若シ大佐ガ十一年デ死ンダ、十一年ノ昇給デ戰死シタト云フ場合ヲ考ヘテ見マス、是ガ千五百三十四圓デアリマス、大佐ガ五十年勤續シテ、是ガ平病死ンダト云フコトヲ考ヘマス、二千七百二十三圓ノ半分デアリマス、サウスルト千五百三十四圓ト云フモノハ二千七百二十三圓ノ五分何厘カニナツテ居リマス、半分以上ニナルノデアリマス、兵卒ノ場合ヲ考ヘテ見マス——同ジ場合ヲ考ヘテ見マス、兵卒ノ場合ハ百五十圓デア、而シテ五十年ノ場合ハ三百八十四圓デアリマスカラ、是ハ四分何厘、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレダケ申上ゲタノデアリマス

○樞貝政府委員 只今一號表ヲ御引合ニナリ、兵卒十一年ノ場合ト五十年ノ場合トノ金額ニ付テ御比較ニナリマシテ、是ハ現行ノ恩給法ガ少々事實ニアリ得ナイコトヲ掲ゲテ居リマス爲ニ、サウ云フ御考ニ導イタコト、考ヘテ居リマスガ、實際問題ト致シマシテ二等兵デ五十年在職スルト云フヤウナ場合ハ、殆ド今日ニ於テ全然ナイト申シ

テ宜イダラウト思ッテ居リマス、多クハ十二、三年、ソレモ非常ニ戰爭デモアリマシタ場合デナイト、二等卒デ十二、三年ノ在職年限ニナル場合ハゴザイマセヌ、十一年ニナル場合モサウ澤山ハナイノデアリマス、戰死シタ場合、或ハ公務傷病ニナッタヤウナ場合、十一年ニ至ルモノト同ジヤウニ取扱ハレル場合ガ多イノデアリマシテ、此表ノ數字ヲ直チニ御使ヒニナツテ戴キマス、抽象的ノ場合ハ宜シウゴザイマスガ、實際問題トシテハ少シ離レテ參リマスノデ、ドウカト考ヘテ居リマス

○江藤委員 ソレハ事實兵卒ガ五十年ト云フ場合ハアリマセヌ、アリマセヌケレドモ、比較ヲシテ見マスルトサウ云フ風ニ兵卒ノ方ニ薄ク、又上級ノ方ニハ厚ク、此表ガ大體ニ於テ出來テ居ルト云フコトノ立證ニナルト斯ウ思フノデアリマス

次ニ承リタイコトハ、徴兵ニ依ッテ召集サレテ國家保護ノ任務ニ當ッテ、名譽ノ戰死ヲシタ兵卒ノ遺族扶助料、職ノ爲ニ犧牲トナッタ警察官ノ遺族扶助料ノ比較ヲ見マシテ、私ハ現行法ノ兵卒ノ遺族扶助料ト云フモノハ、モット増額ヲスル必要ガアルト云フコトヲ考ヘサセラレタノデアリマス、近來警察官ガ職ニ殉ズルモノガ非常ニ多クアリ

マシテ、之ヲ優遇スルト云フコトガ非常ナ問題トナツテ居リマスルコトハ、私ト雖モ非常ニ其感ヲ同ジクシテ居ルモノデアリマス、近時貴族院ニ於キマシテハ、此優遇法ニ付テ何等カノ形式ニ依ッテ現ハレテ居ルヤウニ聞及ンデ居ルノデアリマス、是ハサモアルコト、信ズルノデアリマスガ、然ルニ一方ソレ以上ノ兵士ニ於ケル遺族扶助料ガ、現行ノ儘デアッテ、三割、五ヶ年ト云フヤウナ微温のナ、ホンノ申譯ダケノ増額ガ今回計畫サレタダケデアリマシテ、本當ニ遺族ガ名譽アル戦死者ノ遺族トシテ、生活シ得ルト云フ程度ニ至ッテ居ラヌト云フコトハ、洵ニ遺憾ヲ感ジテ居ルノデアリマス、私ノ聞及ンデ居ルコトガ間違ッテ居リマシタナラバ、尙ホ御調査ヲ御願シタイと思フノデアリマスガ、警視廳ニ於ケル巡查ガ職ニ殉ジタ場合ニハ、法規ニ依ル恩給ノ外ニ給與金トシテ一時金三千圓ト、年額六百萬ノ扶助料ヲ十ヶ年間給セラレルト云フコトニ聞イテ居ルノデアリマス、無論此位ノ優遇ハ當然スベキコト、思ヒマスルガ、之ニ比較致シマスルト、兵士ノ場合ガ私ハ非常ニ貧弱デアルト云フコトヲ絶叫シナケレバナラヌノデアリマス、兵士ノ場合デアリマス、是ハ正ニ絶對的デアリマシテ、戦

場ノ前ニ、萬一進メト云フ時ニ進マナカタラ死刑ニ處セラレ、併ナガラ巡查ノ場合デアレバ強盜ガ向ッテ來テ逃ゲタ所デ、是ハ死刑ニ處セラレナイ、是ハ單ナル懲戒處分位デ済ムノデアリマス、ソレダケ兵士ノ場合ト巡查ノ場合ト違フ、然ルニ巡查ノ場合ニハ私ノ聞及ンデ居ル所ヲ眞トスルナラバ、兵卒ニ比シテ非常ニ多イ、巡查ノ場合ヲ減ラセトハ言ハヌガ、巡查ノ場合ヨリズツ善ク兵卒ノ方ヲミナケレバナラヌト思フノニ、今回ノ改正ニ於キマシテハ僅ニ三割ノ五ヶ年ト云フヤウナ微温のモノデアリマシテ、傷痍軍人ノ如キ、此前ニモ申シマシタガ、千五十圓ヲ貰ッテ居タ傷痍軍人ガ、一旦死歿致シマスルト、現行法ニ依ッテ年額七十五圓ニナルノデアリマス、ソレガ今度ノ改正案ニ依リマシテ三割、五ヶ年増ノ九十七圓五十錢、千五十圓ヲ以テ生活シテ居タモノガ一足飛ビニ、百圓以下ニナルノデアリマス、是等ノコトハ實ニ名譽アル傷痍軍人ノ遺族ヲ遇スル所以デナイト私ハ思フノデアリマスルガ、此警察官吏トノ比較ニ付テ政府當局ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマセウカ、御所見ヲ承リタイノデアリマス

場合ニ、警視廳ニ於キマシテハ恩給法ニ依ル扶助料ノ外ニ、尙ホ一時金ヲ澤山ニ給與スルカラト、斯ウ云フヤウナ御話ガアリマシタガ、一時賜金ノ方ハ例ヘバ兵卒ニ付キマシテモ、之ヲ陸海軍ノ方カラ別ニ給與スルカ否カト云フコトハ、實ハ恩給法トハ別ナ方面デ考慮致スベキコト、考ヘテ居リマスカラ、此點ハ一寸御答致シ兼ネル次第デアリマスガ、巡查ノ場合ハ逃ゲテモ宜シイノダ、兵卒ノ場合ハ逃ゲレバ死刑ニ處セラレル、如何ニモサウ云フヤウナ法規ニ今日ナツテ居ルドラウト思ヒマスガ、恩給法デハ逃ゲナクテヤッタ場合ノ其規定——其時ニ現實ニ進ンデ怪我シタ場合、或ハ死亡シタ場合ニドウ云フモノヲ給與スルカト云フコトガ問題デ、逃ゲテモ宜イカ惡イカト云フコトガ問題デハナイノデアリマシテ、其點ハ逃ゲテハナラナイ、場合ニ依レバ逃ゲテ宜シイト云フノデ、其開キノアルト云フコトト、此恩給額ノ方ノ問題トハ全ク關係ノナイコトデアリマシテ、逃ゲテモ宜イ奴ガ逃ゲモシナイデ進ンデ行ッタ場合ニ、怪我ヲシタ場合ノ問題デアリマス、進ンデ行ッタ場合ニ怪我ヲシナイヤウナ場合、或ハ死亡シナイヤウナ場合ハ、全ク恩給法デハ問題ニナラナイ、功績ガアッテモ怪我シナイト云フヤウ

ナ場合ハ、恩給法デハ問題ニハナラナイ、現ニ死ンダト云フヤウナ場合ニ對シテドウ云フ給與ヲスルカト云フコトデアリマスカラ、逃ゲテモ警官ノ場合ハ別ニ刑罰ヲ以テ臨マレナイデ、兵卒ノ場合ハ逃ゲレバ刑罰ヲ以テ直チニ死刑ニ處セラレルト云フコト、是トハ全ク因果關係ハナイヤウニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ増加恩給ヲ受ケテ居ル者ガ、生前ニハ千五十圓ニナルト申シマスノハ、九百圓ト百五十圓、九百圓ト申シマスノハ、戦争デ傷イタモノ、第一項症、即チ最高——是以上例外トシテモアリマスガ、一般ノ場合ニ於ケル最高ノ九百圓ト、サウシテ二等兵トシマシテノ普通恩給百五十圓、ソレヲ加ヘテ千五十圓ト云フ話ダト思ヒマスガ、ソレガ一度平病デ普通ノ病氣デ死ネバ、直チニ七十五圓ニナルノデハナイカ、斯ウ云フ御話デ、著シク違フト云フ例デ——正シクサウ云フ例モナイデハアリマセヌガ、實際ニ於テハソソナ例ハ事實アツタカドウカ、私ハモウ記憶ガナイ位ノモノデアリマスガ、アルカモ知レマセヌ、併シ寧ロ多クハサウデハナシニ、三百圓カラ四百圓ノ間ニ——四百圓位ノ増加恩給ト、ソレニ百五十圓、是ハ事實ハ百五十圓ガ大抵百八十圓ニナリマス、サウ云フヤウニ怪

○榎貝政府委員 今巡查ガ殉職致シマシタ

我ヲシタヤウナ場合ニ、一級位上ルノガ普通デアリマスカラ、百八十圓位ニナリマスケレドモ、假ニ百五十圓ト致シマシテモ、サウスルト兩方寄セマスト四百五十圓力或ハ多クテ六百圓ト云フノガ七十五圓ニナル、普通ノ病氣死ニマシタナラバ——公務ノ其病氣又ハ其怪我ニ起因致シマス場合ハ決シテサウデハナイノデアリマス、七十五圓ニハナリマセヌデ百五十圓ニナリマス、平病死ニマシタ場合ニ四百五十圓ガ七十五圓ニナルト云フヤウナ場合ガ一番多カラウト思フ、大部分ハソレデヤナイカト考ヘテ居リマスガ、ソレノ状態ハ、丁度官吏ガ公務傷病デナシニ、普通ニ死ニマシテ、扶助料ニナツタ時ガ丁度サウ云フ状態デア、六分ノ一ニ減ルノデアリマス、俸給ヲ取ツテ居ル者ガ役所ノ事デ無理ラシテ、風邪ヲ引イテ死シタト云フノハ、公務傷病ニナリマセヌカラ、サウ云フ場合ニハ遺族ハ六分ノ一ノ收入ニ落チテシマフト云フヤウナコトガアリマス、サウ云フ場合ニ増加恩給ヲ貰ツテ居ルノハ、幾ラカ違フデヤナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレマスノデ、今度ノ改正案ニ於テハ、其移リ變リヲ滑ニシタイ、一般在職者ガ平病死ニマシタ場合ニ付テハ、何等顧ミナイニモ拘ラズ、尙且ツ

公務傷病ニ依ル受恩給者ノ遺族ニ付キマシテハ三割五年ト、其移リ變リヲ滑ニシタイト云フ考ヲ政府ハ持チマシタヤウナ譯デアリマス、今回、全體ニ於キマシテハ、恩給増額ノ趨勢ヲ防止シタイト云フコトニ大キナ主眼ヲ置イテ、改正致シテ居ルニモ拘ラズ、其乏シキ中ヲ割イテモ、此點ニ付キマシテハ増額ヲシテ居ルヤウナ譯デ、決シテ政府ハ之ニ對シテ涙ナキ態度ヲ執ツテ居ル次第デハナイト御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○江藤委員 今ノ恩給局長ノ御説明ハ見解ノ相違デアリマス、又感ジノ程度ノ相違デアリマシテ、成程増加恩給ノ一番少イモノカラ比較致シマスルト、文官ト同ジ程度ノ六分ノ一デア、併ナガラ文官ト徴兵ニ依ッテ呼出サレテ兵隊ニ行ッテ、サウシテ不具癢疾ニナツタ癩兵ノ遺族ノ扶助料ト云フモノトハ、非常ナ差ガナクテハナラス、私共ハ非常ナ差ガナクテバナラヌト思フノデアリマスガ、今ノ恩給局長ノ御話デハ、一體ニ恩給ト云フモノヲ減ラサウト云フヤウニ考ヘラレテ居ルカラ、三割五年デ、少クテモ殖シテ居ルノダカラ、有難イト思ヘト云フヤウナ御考デアアルカモ知レマセヌガ、私共ハサウハ考ヘヌノデアリマス、ソレハ御減ラ

シニナルコトハ大イニ御減ラシニナッデ宜シイ、併ナガラ又御殖シニナルコトハ大イニ御殖シニナリ、又少クトモ正當ニ御殖シニナルコトガ必要デアリマシテ、減ラス場合ニ一寸デモ殖シタノダカラ、ソレデ一ツ我慢ヲシロト斯ウ云フ御説ニハ承服ハ出來ナイノデアリマス、何遍繰返シテモ同ジデアリマスガ、成程一項症ト云フモノハ少イ、少イケレドモ絶無デナイコトハ明瞭デアリマス、必ズアルノデアリマス、而シテソレハ少イケレドモ、其少イ者ガ困ッテ居ルカラ、尙ホ一層私ハ救ハナケレバナラヌト、斯ウ云フコトモ一面言ハレルダラウト思ヒマス、此點ニ付テハ此程度デ置キマスガ、次ニ……

○津崎委員長 江藤君如何デスカ、大藏省ノ政府委員ガ見エテ居リマスガ、都合ニ依リマシテ……

○江藤委員 大藏省ノ方ノ御方ニモ質問致シタイト思ヒマスガ、ソレヲ先ニ致シマセウカ

○津崎委員長 ソレデハ都合ニ依リマシテ、大藏省ニ對スル質疑ヲ此間ニ致シタイト思ヒマス、江藤君、ソレデハ繼續シテ大藏省ノ方ヲヤッテ下サイ

○江藤委員 大藏當局ニ御尋致シタイト思

ヒマスコトハ、第一點ト致シマシテ、恩給局長ノ御答辯ニ依リマスルト云フト、軍人ノ遺族扶助料ニ付テハ増額シタイト思フガ、財源ガ無イ爲ニ已ムヲ得ズ此程度ニ止メタノデアルト云フコトヲ御話ニナツタノデアリマスガ、尙ホ私ハ大藏當局ニ御尋シタイト思フノデアリマス、此恩給局御要求ニナル額ト云フモノハ、二十二億三千万圓ノ歳出豫算ニ比較致シマスルト、極ク小額デアラウト思ハレマスガ、其小額ノ此金ガ出サレナイト云フ理由ガ何所ニアルノデアリマセウカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○藤井政府委員 恩給ノ問題、特ニ其中デ軍人ノ遺族扶助料ヲ厚クスルトニ對シテ改正ヲ加フルトシテモ、大シタ財源ガ要ラナイナラバ、今日ノ如キ大キイ豫算ヲ組ンデ居ル状態ノ下ニ於テハ、大藏省當局トシテモ認メテハドウカト云フ御質問ノヤウデアリマス、八年度豫算ノ編成ニ當リマシテハ、大藏當局ト致シマシテハ内外ノ時局ノ情勢ニ鑑ミマシテ、歳出ノ緊急已ムヲ得ザルモノガ相當巨額ニ上ルト云フコトヲ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、何分ニモ今日ノ如キ財界ノ不況ガ續キマシテ歳入ガ多クナラナイ、否何レカト云ヘバ歳入ガコ、數年來減ッ

テ參タト云フヤウナ状態デアリマシテ、歳出ノ方ニ少シデモ多クナルト云フコトニナリマスレバ、此財源ハ今日ノ状態ニ於テハ、已ムヲ得ズ公債ニ依ッテ補填スルヨリ外ニ途ガナイト云フ實情ニ置カレテ居ルノデアリマス、隨テ此點ニ付キマシテハ、本議場ニ於テモ豫算總會並ニ分科會等ニ於キマシテモ、各員ヨリ色々御意見モ出テ居リマスルシ、御議論モアッタヤウデアリマシテ、私共モ之ヲ謹聽致シテ居タノデアリマスガ、出來マスルコトナラバ、此巨額ノ公債、世間デ謂フ所ノ赤字公債ナルモノヲ少シデモ少ク致シマシテ、將來ニ於ケル國民ノ負擔ヲ少クスルヤウニ努ムベキハ、是ハ嘗ニ大藏省ニ居リマスル私共バカリデハナク、皆様ガ御心配ニナッテ居ラレル點デアリマシテ、私共トシマシテモ、出來ルダケ此赤字公債ヲ少クスルコトニ努メタイト思ッテ、努力致シテ居ッタノデアリマス、當初八年度豫算ノ編成方針ト致シマシテハ、閣議ニ於テ大體ノ方針ヲ決定セラレマシテ、其後其方針ニ基テ豫算ヲ編成シ、又豫算編成後ニ於キマシテモ、更ニ已ムヲ得ナイモノニ付テハ、追加豫算ヲ各省カラ出サレマシテ、之ヲ大藏省デ査定致シテ居ル、斯ウ云フ實情ニ在ルノデアリマスガ、大體ノ方針ト致

シマシテハ、滿洲事件ニ關スル經費並ニ陸海軍ニ於ケル兵備ノ改善ニ要スル經費ハ、今日ノ場合時局ニ鑑ミマシテ已ムヲ得ナイモノデハナカラウカ、尙ホ其外ニ昨年ノ衆議院ノ決議ヲ基礎ト致シマシテ、現内閣ノ執ッテ居リマスル、所謂時局匡救費ナルモノモ、是モ亦今日ノ狀態ニ鑑ミマシテ已ムヲ得ナイ經費デアラウ、其滿洲事件費、兵備改善費及時局匡救費ヲ除キマシタ他ノ經費ニ付キマシテハ、法律上其他ノ關係ニ依ッテ政府ノ義務ニ屬スルモノハ已ムヲ得ナイノデアリマスルガ、政府ノ裁量ニ依ッテ決シ得ベキ費目ニ付キマシテハ、出來得ル限り是ガ計上ヲ見合スコトニシヨウ、斯ウ云フ大體ノ政府ノ方針ニ基キマシテ豫算ヲ編成シテ參タノデアリマス、隨テ若シ財源ガアリマスナラバ、ア、モシタイ、斯ウモシタイト思フ點ガ實ハナイノデアリマスケレドモ、一般方針ガサウ云フヤウニ決メラレテ居リマシテ、今日ノ財政上已ムヲ得ナイト云フコトデ、大藏省ノ當局ト致シマシテ、出來得ル限り歳出ノ増加ハ見合セテ戴キタイ、斯ウ云フ態度ヲ以テ各省ニ御話シテ居ッタノデアリマス

今日ノ狀態ニ於キマシテ、此儘恩給法ニ何等ノ手ヲ加ヘズシテ置クコトハ宜シクナイ、何トカシテ之ニ出來得ル限りノ改善ヲ加ヘタイト云フ御話ヲ伺ヒマシテ、私共ノ立場ト致シマシテハ、必要已ムヲ得ナイモノハ増額サレルコトモ宜カラウガ、一方ニ於テ若シ減ジ得ルモノガアルナラバ減ジテ戴キタイ、結局ニ於テ財政上ノ負擔ヲ輕クスルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望致シマシテ、折角調査サレタ結果、今日御審議ヲ願ッテ居リマス、成案ヲ得タ次第デアリマシテ、サウ云フヤウナ經過ヲ經テ今日ニ參テ居ルノデアリマス、若シ財政狀態ガ改善サレマシテ、財源ニ餘裕ガ出來テ參ッテ場合デアリマスナラバ、又考ヘヤウガアラウト思ヒマスガ、何分今日ノヤウナ財政狀態デアリマスカラ、出來得ルダケ財源ヲ要シナイヤウニ、赤字公債ヲ少ク致シタイ、斯様ナ大體ノ考ヲ以テ今日マデ御話ヲ致シテ參ッタノデアリマス

○江藤委員 御説明諒承致シマシタ、私ハ癡兵トカ遺族ト云フヤウナモノガ、此不景氣ノ時ニハ、一般ノ達者ナ者ヨリモ一層生活ニ困難ヲスルノデアリマスカラ、恩給法改正ニ手ヲ著ケテ、所謂時局匡救ト云フ意味カラ致シマシテモ、是等ノ國家ノ犠牲ニナッタ者ヲ救ッテ戴ク、優遇シテ戴クト云フコトガ、最モ緊要ナルコトデハナカラウカ、若シ永久的ニ行カヌニ致シマシテモ、時局匡救ト云フ意味ニ於テモ、何等カノ方法ニ於テ是ハ必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘサセレルノデアリマス

尙ホ私ハ是モ大藏當局ニ、將來ノ爲ニ考慮ニ入レテ戴キタイト思フノデアリマスガ、傷痍軍人ガ傷病ガ増進致シマシタ爲ニ、其増進シタ結果ヲ、地方ニ於ケル衛戍病院等ノ證明ニ依ッテ査定ヲ御願シテ居リマスガ、多クノ場合ニハ、其時ニ恩給局カラ任意出頭ノ形ニ於テ恩給局ニ出テ來イ、斯ウ言フノデアリマス、サウシテ恩給局囑託ノ醫者ヲシテ再ビ審査セシメラレルノデアリマス、斯ウ云フコトハ私ハ甚ダ不合理デアルト思フノデアリマシテ、恩給局ニ言ハセルト、ソレハ陸軍ノ軍人ノコトヲ衛戍病院デヤルカラ、御手盛りデアルカラ、信用ナラヌカラ、恩給局デ直接ヤルト仰シヤルカモ知レマセヌ、又仰シヤル方ガアリマス、ソレナラバ旅費ヲ支給スルコトガ當然デアルト思フ、支給スルノガ當然デアルノニ、旅費ヲ支給セズシテ、任意ニ出テ來イ、ソレガ出テ來タト、二年デモ三年デモ抛ッテ置カレルノデアリマス、其例ハ澤山アリマスガ、

ソレハ長クナリマスカラ、此場合差控ヘテ置キマス、サウ云フ少額ノ旅費サヘモ大藏省ニ於テハ御出シニナル意思ガ御アリニナラスノデアリマスカ、尙ホ承リタイノデアリマス

○藤井政府委員 只今御話ノ點ニ付キマシテハ、實ハ私能ク事情ヲ承知シナイ點ガアルノデアリマス、傷痍軍人ノ方ガ、其傷病ガ昂進ヲシテ、恩給局デ査定ヲヤリ直ス場合ニ於テ出頭ヲ命ジテ、ソレニ旅費ヲ支給スル意思ナキヤト云フ御質問ノヤウデアリマスルガ、實ハ其點ニ付キマシテハ、詳シイ事情ヲ承知致シテ居リマセヌノデ、今此處デ御即答ヲ致シ兼ネルノデアリマスルガ、事情ヲ能ク取調ベマシテ考慮ヲ致シタイト存ジマス

○江藤委員 我國ノ陸海軍ニ於ケル軍人ニ對スル恩給ト、一般歳出トノ比較ヲ外國ト比較シテ見マスルト、我國ガ一番惡イヤウニ思フノデアリマス、恩給局長ノ先日ノ御示シニ依リマシテ、軍人恩給ガ英國ハ一般歳出ノ五分、米國ハ五分五厘、斯ウ云フコトニナッテ居ルト云フコトデアリマシタ、然ルニ我國ノ恩給ハ約六千萬圓デアリマスルカラ、二十二億三千萬圓ニ比較致シマスルト、二分七厘弱ニナルノデアリマシテ、殆ド米

國ノ半分ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、斯ウ申シマスルト、二十二億ヲ標準ニシテ吳レチヤ困ル、是ハ二三年ノ間デアッテ、ドン／＼減スンデヤト、斯ウ御言ヒニナルカモ知レマセヌガ、是ハ見解ノ相違デアリマス、私ハ日本ノ國情カラ考ヘマシテ、將來二十二億三千萬圓ト云フモノガ、決シテ多ク減ラヌモノト信ジテ居ルノデアリマス、減ラヌモノト考ヘルダケヂヤナイ、寧ロ是ガ三十億ニモ四十億ニモナッテ來テ、初メテ日本ノ使命ヲ果スコトガ出來ルモノト信ジテ居ルノデアリマスカラ、私ノ考ヲ以テ致シマスルト、二十二億三千萬圓ト云フモノハ、是ハモウ當然ノ歳出デアル、サウシマスルト、是ガ英米ニ比シテ非常ニ少イノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘマシテ

モ、我國ノ軍人ガ今日政府當局カラドウ云フ風ニ待遇ヲサレテ居ルカト云フコトハ、大體論トシテモ私ハ分ルト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テモ大藏省當局ノ御考慮ヲ煩シタイ

尙ホ最後ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスルコトハ、大藏大臣ハ増稅ヲシテ見タ所デ大シタコトハナイノダ、ダカラシテ増稅ヲシナイノダト云フヤウナコトヲ度々御説明ニナッテ居ル、私共ハ金持ニ増稅ヲスルト云

フコトハ、此際當然ヤルベキコトドラウト思ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ擔稅力ノアル金持ニ増稅ヲセズシテ、サウシテ財源ガナイカラ、國家ノ爲ニ犠牲ニナッテ癩兵ヤ、或ハ遺族ノ扶助料ヲ増ス金ガナイ、斯ウ云フコトハ私ハ承服ハ出來ナイ、大藏大臣ハ金持ニ増稅ハシタクナイ、國家ノ犠牲ニナッテ兵卒ノ扶助料ヤ、或ハ癩兵ノ扶助料ハ増スコトハ出來ナイ、斯ウ云フ御考デアルノデアリマセウカ、又彼ノ明糖事件ノ如キハ、明瞭ニ豫算案通過ノ際ニ希望條項トシテ掲ゲラレテアルノデアリマス、明糖會社ガ何千萬圓ト云フヤウナ脫稅ヲシテ居ル、又其他ノ大會社モ是ト同様ノ脫稅ヲシテ居ルコトハ明瞭デアリマス、斯ウ云フ脫稅ヲ殆ド默認ラシテ居ル、司法省カラ之ヲ

脫稅ナリト云フコトヲ明瞭ニ突付ケラレテ居ッテ、ソレデモ能ウ徵收セラレナイ、將來ニ向ッテソレヲヤラウト云フヤウナコトデ、サウシテ財源ガナイ——財源ガナイヂヤナイ、御取リニナラナイノデアアル、取ラウト思ヘバ幾ラデモアル、御取リニナラズシテ、而シテ斯ウ云フ國家ノ犠牲ニナッタ所ノ兵卒ヲ優遇セラレナイト云フコトニ付テハ、私共ハ絕對ニ承服ガ出來ナイノデアリマス

○藤井政府委員 二十二億三千餘萬圓ノ歳出ヲ有ッテ居ル場合ニ、之ニ比較シテ我國ノ軍人恩給ハ割合ニ少イヂヤナイカ、モウ少シ歳出總額ニ對スル割合カラ考ヘルト、恩給額ハ増額致シテモ宜シイデハナイカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、御言葉ニモアリマシタ通り、政府ト致シマシテハ、此二十二億三千餘萬圓ノ歳出ハ全ク臨時的ノモノト考ヘマシテ、之ニ對スル歳入不足ノ赤字公債ハ八年度豫算トシテハ計上致シテ居リマスルケレドモ、成ベク速ニ財政上ノ收支ノ均衡ヲ得ルヤウニ努力ヲ致シマシテ、赤字公債ヲ少クスルコトニ致シタイ、斯様ニ大藏大臣モ御説明ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、只今色々御議論ガアリマシテ、此二十二億三千餘萬圓ノ歳出ハ今後ニ於テモ減ラナイノヂヤナイカト云フヤウナ御意見モアルヤウデアリマス、是ハ御意見ハ御意見トシテ伺ッテ置クノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ、出來ルダケ收支ノ均衡ヲ得ルヤウニ努力ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、色々他ノ機會ニ於キマシテ各國務大臣ヨリモ屢、御話ノアッタコトデアリマスカラ、茲ニ私ハ繰返スコトヲ避ケタイト思ヒマス、唯一言申上ゲテ置イタ方が宜カラウト思ヒマスコトハ、外國ノ制度

ト我國ノ制度トヲ比較致シマス場合ニ、唯單純ニ一應數字ニ現ハレマシタモノダケヲ比較致シマス、動モスルト結論ニ於テ誤解ヲ生ズル場合ガ少クナイノデアリマス、只今日日本ノ八年度ノ豫算二十二億三千餘萬圓ト云フモノヲ御舉ゲニナリマシテ、ソレト外國ノ數字ト御比較ニナラレマシタ、是ハ一應研究トシテ當然ノコトデアリマスケレドモ、御承知ノ如ク我が日本ニハ一般會計ノ外ニ三十有餘ノ特別會計ガアリマシテ、其特別會計ノ歳出ヲ合計致シマス、八年度歳出ノ總計ハ約七十億ニナルノデアリマス、而シテ此中デ一般會計ト特別會計トノ間ニ、又各特別會計ノ間ニ於キマシテ二重、三重ニ重複ヲ致シマスモノガアリマスノデ、皆御承知ノ通り、吾々ガ之ヲ差引キ致シマシテ、一應事務的ニ出ス純計ト云フモノヲ作ッテ居ルノデアリマス、是ハ衆議院ニ於テモ御要求ガアリマシテ、漸ク今出來上リ掛ッテ參タ所デアリマスガ、此一般會計並ニ特別會計ノ間ニ於ケル重複ヲ差引キ致シマシタ純計ヲ出シテ見マス、八年度ノ豫算ニ於キマシテ歳出ノ純計總額ハ四十七億餘萬圓トナルノデアリマシテ、十二億ト云フ一般會計ノ歳出ヲ基礎ニ取リマス場合ト、特別會計ヲ加ヘタ純計四十七

億餘ヲ基礎ニ取ル場合トハ、非常ナ差ガ出テ來ルノデアリマス、勿論外國ニ於キマシテモ、國ニ依リマシテハ一二ノ特別會計ヲ有ッテ居ル國ガアリマスカラ、外國ノ數字ト比較致シマス場合ニ於テモ、單ニ外國ノ一般會計ダケ取デハ是亦誤解ヲ生ズル原因トナルノデアリマスガ、概シテ申シマス、外國ニ於キマシテハ特別會計ナル制度ハ比較的ニ少イノデアリマス、我國ノ如ク三十有餘ノ特別會計ガアッテ、歳出ヲ通計致シマスト一般會計ノ倍以上ニナルト云フヤウナ例ハ、外國ニハ比較的乏シイノデアリマシテ、外國トノ數字ヲ御比較ニナリマス時ニハ、是等ノ點ヲ併セテ御考慮ヲ願ッタ方ガ正シイノデハナカラウカト考ヘマス、大藏當局ハ唯財源ガナイト云フコトヲ口實ニ致シテ、必要ナ歳出マデモ拒ンデ居ルノハ不都合ダト云フ御言葉デアリマシタガ、決シテサウデハナイノデアリマシテ、私共モ最善ノ努力ヲ盡シテ、歳入方面ニ於キマシテモ、歳出方面ニ於キマシテモ、財政ノ堅實ナル發達ヲ期スルヤウニ思ッテ、苦心努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、増税ヲシ得ルニ拘ラズ、唯富豪ノ味方ヲシテ手ヲ拱イテ、ソレデ以テ財源ガナイト言ッテ居ルノデハナイカト斯ウ仰セラレルノデアリマスガ、

是ハ本議場其他ニ於キマシテ大藏大臣ガ屢、御説明ヲ申上ゲテ居ルコトデアリマシテ、大キイ政策ニ屬スル問題デアリマスカラ、寧ロ私カラ申上ゲルコトハ差出ガマシイコトダトハ思フノデアリマスガ、唯大藏大臣ノ屢、申上ゲテ居ラレマス趣旨ハ、政府ハ決シテ増税ヲ否ムモノデハナイ、増税ヲシテハイカヌト云フコトヲ申シテ居ルノデハナイノデアリマス、一日モ速ニ増税ヲシテ、増收計畫ヲ立テ、一般的ニ收入ノ増加モ圖リ、歳出ノ方モ考慮ヲ致シテ、收支ノ均衡ヲ得ルヤウニ努力致シタイ、併シ此増税其他ノ増收計畫ヲ立テルノニハ自ラ時機ガアルノデアリマス、若シ急イデ増收計畫ヲ立テルナラバ、ソレニ依ッテ増收ヲ得ントスル計畫ガ、却テ將來ニ於ケル收入ノ増加ヲ妨ゲテ、長イ眼デ見タ所ノ遠イ將來ヲ洞察シテ考ヘタ場合ニ於ケル堅實ナル財政計畫ヲ、齟齬スルコトニナリハシナイデアラウカト云フコトヲ大藏大臣ハ心配サレマシテ、今日ノ場合少クトモ八年度ノ豫算編成ニ於テノ増税ハ、今マダ其時機ニアラズト斯ウ申サレテ居ルノデアリマシテ、決シテ増税ハシテハイカヌト斯様ニ申サレテ居ルノデハナイノデアリマス、若シ日本ノ財界ガ一日モ早く恢復ノ道程ヲ辿ルヤウニ

ナリマシテ、増税シテ宜シイト云フ時機ガ參リマスナラバ、喜ンデ大藏大臣モ増税ヲ致サウ、又其時機ノ一日モ早く來ランコトヲ自分ハ心カラ祈ッテ居ルノデアルト、斯様ニ申上ゲテ居ルノデアリマス、大藏省當局ノ者ガ唯徒ニ増税ヲシナイノデヤナイカト斯ウ仰セラレルコトニ對シマシテ、一言御説明ヲ致シテ置ク次第デアリマス

○江藤委員 今ノ御説明ハ、大藏當局ガ増税ヲシナイト云フコトニ付テノ御説明ハ、豫テ大藏大臣カラモ承ッテ居リマスルガ、是ハ見解ノ相違デアリマスカラ、時機ト云フコトニ付キマシテハ是ハ議論ヲ避ケマスルガ、今ノ局長ノ御話ノ純計豫算ガ四十七億、此純計豫算カラ考ヘマスルト、此率ハ尙ホ惡クナルノデアリマシテ、二十二億ニ對シテサヘモ二分七厘、外國ノ純計豫算デアラウト、サウデナカラウト、其比率ハ五分ト五分五厘ト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、若シ日本ガ之ヲ純計豫算デ、外國モ純計豫算ニ致シマスルト、二分七厘ガ一分三厘ニ減ッテシマフノデアリマシテ、尙ホ一層惡イト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ此程度デ大藏省ニ對スル質問ヲ止メマス

○津崎委員長 林君カラ屯田兵ノ豫備役期

間ヲ恩給期間ニ加算スルコトニ付テ前ニ質問ガアリマシタ、ソレニ付キマシテ林君ノ大藏當局ニ對スル御質疑ヲ願ヒマスガ、結論的ニ一ツ急所ヲ聽イテ下サイ

○林委員 本議會ノ二月八日ニ於ケル豫算委員會第三分科會ニ於テ、松實委員ノ屯田兵ノ一時金ニ關スル質問ニ對シテ、藤井主計局長ハ斯様ニ御答辯ニナッテ居ルノデアリマス、元北海道ニ於ケル屯田兵ノ豫備役期間等ヲ恩給期間ニ加ヘマシテ、之ニ對スル救済ヲシロト云フ、御意見ナリ御希望ナリハ屢、伺ッテ居ルコトデアリマス、又請願其他ノ方法ニ依ッテモ、吾々トシマシテハ、各方面カラ其御意見ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、併シ元屯田兵ノ救恤ニ關シマシテハ、嘗テ一度既ニ一時金ヲ支給致シタ關係モアリマスシ、又一度サウ云フヤウニ一時金ヲ支給致シテ、解決ヲ致シタ積リデアッタノデアリマスガ、ソレガ屢、矢張請願ニ依ッテ出サレルト云フコトニナリマシテ、其請願ノアルガ爲ニ又二度三度之ヲ繰返スト云フコトニナリマスレバ、他ノ給與ノ問題ニ關聯致シマシテ、各方面ニ影響スル所モ少クナイト云フヤウナ考カラ、今日マデ元屯田兵ノ救恤ニ關スル豫算ノ要求ニ對シテハ、大藏省トシテ同意ヲ致シマセヌ」斯様ナ御答

辯デアリマスガ、此御答辯ノ中ニアリマスル、曾テ一度既ニ一時金ヲ支給致シタト云フコトハ、是ハ何レノ如何ナル屯田兵ノ請願ニ對シテ支給シタノデアルカ、私ノ承知致シマスル所ニ依レバ、屯田兵ニ對シテ一時金ヲ支給致シマシタノハ大正六年頃カト存ジマス、寺内内閣ノ下ニ於テ決定シタ事デアッタノデアリマス、金額ハ十萬圓以下ノモノデアリマシテ、其一時金ハ救恤金ノ名目ニ依ッテ支給セラレタノデアリマスルガ、何故其一時金ヲ支給セラレタカト言ヘバ、是ハ最初現役三ヶ年ト云フ屯田兵條例ノ下ニ於テ徵募シタ所ノ屯田兵ヲ、政府ハ條例ヲ改正シテ七ヶ年ニ現役年限ヲ延長シタ、延長セラレタ四ヶ年間ハ殆ド無給與デ軍務ニ服サレタ、現役三ヶ年ノ間ハ定メラレテアル所ノ種々ノ給與ガアッタノデアアルガ、延長セラレタ四ヶ年ニ對シテハ全ク無給與同様デアッタ、是ガ穩當デナイカラシテ、其四ヶ年間ノ服務ニ對シテノ給與ヲシテ貰ヒタイト云フ請願ガ、屢、衆議院及貴族院ニアリマシテ、サウシテ結局ソレガ議員提出ノ法律案トナリ、屯田兵一人當リニ對シテ約一千圓近クノ給與ヲシテ貰ヒタイト云フヤウナ法律案ノ提出モアッタノデアリマス、所ガ當時政府ハ此問題ニ付テ妥協ヲ

シテ、サウシテ救恤金ヲ給與スルカラシテ、其法律案ハ廢メテ貰ヒタイト云フヤウナ話モアル、斯様ナ経緯ヲ經テ寺内内閣ノ下ニ於テ十萬圓ニ滿タザル僅ノ金額、之ヲ一人當リニシマス、確ニ百十六圓十錢デアッタカト思ヒマスガ、之ヲ救恤金トシテ支給セラレタコトガアルノデアリマス、是ハ屯田兵ノ全體カラ申シマスルト云フト極ク一部ノ者デアアル、北海道ニ於ケル屯田兵ノ總數ハ其戸數ニ於テ約七千戸デアリマス、此中明治二十年ニ徵募致シマシタ東旭川屯田兵、明治二十六年ニ徵募致シマシタ當麻屯田兵、明治二十七年ニ徵募致シマシタ江部乙屯田兵、是等ノ屯田兵ガ即チ現役三年デアル筈デアッタモノガ七ヶ年ニ延長セラレタ爲ニ、以上ノ経緯ヲ經テ救恤金ヲ給與セラレタノデアリマス、此以外ニ一時金ヲ支給セラレタト云フコトハ、私全ク承知ヲ致サナイノデアリマスルガ、主計局長ノ此御答辯ニナリマシタ一時金トハ、私ガ今申上ゲマシタ、此現役四ヶ年無給與デ服役セシメタ者ニ對スル救恤金ノ間違デハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ大藏省ノ主計局長カラ特ニ御答ヲ得タイト思フノデアリマス

○藤井政府委員 先刻江藤委員ニ對シテ申

シマシタ私ノ言葉ガ少シ不十分デアッタト思ヒマスカラ、一言尙ホ附加ヘテ置キマス、各國ノ數字ヲ御比較ニナル場合ニハ、色ノ事情ヲ御考慮ヲ願ヒタイト云フ一例トシテ申上ゲタノデアリマスガ、各國ノ制度ハ色々其組織ガ複雑ニナッテ居リマスノデ、外國ノ數字ヲ御比較ニナリマス時ニハ、ソレ等ノ點モ御考慮ヲ願フコトガ必要デヤナイカト云フ一例ニ申上ゲタニ過ギナイノデアリマスガラ、ドウゾ左様御諒承願ヒマス

ソレカラ只今ノ林委員ノ御尋ハ、過般豫算ノ第三分科會ニ於テ私ガ、松實委員デアッタカト存ジマスガ、御尋ガアリマシテ、ソレニ御答ヲ申上ゲタ事ニ付テノ御質問デアリマス、其時ニ松實委員ノ御尋ハ、屯田兵ノ問題ニ付テハ從來幾多ノ問題ガアッテ、自分達ガ熱心ニ之ヲ主張シテ來テ居ルノデアアル、陸軍省ニ於テ曩ニ設ケラレタ兵役義務者及廢兵待遇審議會ニ於テモ、例ヘバ屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給年限ニ通算シロトカ、現役期間ニ對シテ一時恩給ヲ支給セヨトカ、前戸主ノ服務年限ヲ通算シテ恩給ヲ支給セヨト云フヤウナコトモアッタカト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ幾多ノ問題ニ付テ審議ヲサレタ筈デアッテ、既ニ答申モ出テ

居ル筈デアル、曾テ陸軍省カラ大藏省ニ對シテ此屯田兵ノ問題ニ付テ、審議會ノ答申ニモアル通り、最終的決定ヲ與ヘル爲ニ豫算ノ要求ガ出タ筈デアルガ、ソレヲ如何ニ扱ツカ、若シ之ヲ八年度豫算ニ計上スルコトガ出來ナカッタトスルナラバ、今後何年度ニナレバソレヲ支出シ得ルカ、ハッキリシタ事ヲ言ッテ貰ヒタイト云フ意味ノ御尋デアッタノデアリマス、之ニ對シテ私ハ此給與ノ問題ハ非常ニ他ニ影響スル所ガアルノデ、吾々トシテハ餘程他ノ權衡モ考ヘテ置カネバナラスト思ッテ居ルノデ、豫テ屯田兵ノ問題ニ付テ屢々請願其他ノ陳情等ニ依ッテ問題ノアルコトハ能ク承知致シテ居リマスガ、曾テ屯田兵ノ問題ニ付テハ一時金ヲ出シタコトモアルノデアリマス、又此種ノ問題ニ付キマシテハ、假令最終的決定ノ積リデ一時救恤金ト云フヤウナモノヲ出シマシテモ、又ソレトノ權衡其他ノ關聯ニ依ッテ、第二第三ノ問題ガ起ッテ來ルコトガアリマスノデ、サウナリマスト他ノ一般ノ給與ニモ影響ヲ及ボシテ參リマスシ、大藏當局トシテハ一般的ノ問題ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ財政狀態ガ斯ウ云フ不良ノ時デアリマシテ、陸軍省カラ實ハ八年度豫算トシテ御要求ノアッタノハ事實デアリ

マスケレドモ、一方ニハ陸軍省ニハ滿洲事件費トカ、兵備改善費等ノ巨額ノ經費ヲ計上シナケレバナラヌ狀態デアッタノデアリマスカラ、陸軍當局トモ御相談致シマシテ、屯田兵ニ關スル救恤金ノ豫算ハ八年度豫算ニハ載セテ居ラスノデアリマス、ソレカラ今後何時ニナッタナラバ大藏當局ハ計上スルカト云フ御問ニ對シマシテハ、明ナル事ハ申スコトハ甚ダ困難デアリマス、斯ウ云フ御答ヲ申上ゲタノデアリマス、其屯田兵ニ對シテ曾テ一時金ヲ出シタコトガアルト申上ゲマシタノハ、實ハ今御述ニナリマシタ大正七年デアッタカト思ヒマスガ、屯田兵ノ服役期間ヲ延長致シマシタ場合ニ於テ、一時救恤金ト言ヒマスカ、一時資金ト申シマシタカ、一時的ノ歳出ヲ出シマシテ其問題ヲ片付ケタコトガアルノデアリマス、ソレヲ意味シテ申上ゲタノデアリマシテ、豫備役期間ノ關係ニ於テ一時金ガ出タコトガアルト云フ意味デ申上ゲタノデハナイノデアリマス、或ハ私ノ申上ゲヤウガ言葉ガ足りナカッタ點ガアッタカモ知レマセヌガ、私ノ頭ニ其當時考ヘテ居リマシタ事ハ、只今御示ニナッタ事ヲ頭ニ置イテ申上ゲテ居ルノデアリマス、申スマデモナク此給與ノ問題ハ他ノ方面ニ對スル影響モ常ニ

考ヘテ置カナケレバナラヌノデアリマシテ、或ル不公平ヲ矯正スルガ爲ニ最終的決定ノ積リデ一時歳出ヲ出ス、ソレモ宜イト思ッテ居リマス、其一時出シマシタ歳出ニ依ッテ救済サレル方々ハ、ソレデ御満足ニナルノデアリマスケレドモ、ソレト關聯シマシテ、時ト場合ニ依ルト更ニ新ナル不公平ヲ產出ス場合ガナイデモナイノデアリマシテ、私共大藏省ニ居リマス者トシテハ、サウ云フ要求ノアリマシタ場合ニハ、要求サル、側ニ立タレル方々ノ御意見モ篤ト伺ッテ、能クソレヲモ承知致シマスルト同時ニ、又ソレガ他ノ方面ニ及ボス影響ト云フコトモ併セ考ヘマシテ、常ニ問題ヲ取扱ッテ參ッテ居ルノデアリマシテ、今日ノ財政狀態ニ於テ遺憾ナガラ屯田兵ノ救恤ニ關スル一時金ヲ八年度ノ豫算ニ計上スルコトガ出來ナカッタト、斯様ナ意味デ御答申上ゲタノデアリマス

委員トシテ御參加ニナッタ、兵役義務者及癈兵待遇審議會ノ決定シタ答申事項デアリマスカラ、無論御承知グラウト存ジマスガ、先般モ此委員會デ申述マシタヤウニ、此審議會ニ於キマシテハ屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給年ニ通算スルコト、現服役期間ニ應ズル一時恩給支給ノコト、前戸主ノ服役期間ヲ恩給年ニ通算ノコト、諸種ノ屯田兵ニ關スル請願ガアルケレドモ、此三ツダケハ屯田兵役義務ノ特殊性ニ鑑ミ、同情スベキモノガアルト認メラレルカラ、一時金ヲ支給シ、以テ屯田兵ノ恩給問題ニ對スル最後ノ解決トスルト云フ、此決定ガアルノデアリマシテ、是ハ無論御承知ノコト、思フノデアリマス、ソコデ此三ツノ關係ノ屯田兵ニ對シテハ、先刻ノ御答辯ニ依ッテ明瞭致シマシタ如ク、曾テ政府ハ一時金ヲ支給シタコトモナイ、其他ノ優遇方法ヲ講ゼラレタコトモナイノデアリマス、ソコデ恩給法ノ上ニ問題トナッテ居リマス豫算役期間ヲ恩給年ニ通算ノコトハ、是ハ此本議會ニ、衆議院ニハ議員提出ノ恩給法中改正法律案トシテ現ハレテ居ルノデアリマシテ、此委員會ニ於キマシテ恩給局長ノ御説明ヲ承リマシテモ、恩給ニ關スル諸種ノ請願、陳情ガアルガ、今回ノ改正ニ於テ考慮セザリシモノ

○林委員

只今ノ御答辯ニ依ッテ此豫算分科會ニ於ケル主計局長ノ御答辯ガ、恩給法ノ上ニ問題トナッテ居ル屯田兵ノ、豫備役期間ヲ恩給年ニ通算シテ貰ヒタイト云フ屯田兵ハ、嘗テ一時金ヲ支給シタ關係ハナイト云フコトガハッキリ致シタノデアリマスガ、サウ致シマス、是ハ藤井主計局長ハ

ハ、屯田兵ノ服務期間ノ恩給問題デアル、ソコデドウシテモ私共ハ豫備役期間ノ恩給問題ヲ、今回政府ノ御提案ニナリマシタ恩給法ノ改正ヲ行ハル、此機會ニ於テ、恩給ヲ給與スベキモノデアルカナイカト云フコトヲ明瞭ニ決定ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、併ナガラ若シモ大藏省ガ此審議會ニ於テ決定答申ヲ得テ居ラレマス此屯田兵ノ特別慰藉金ノ問題ヲ、之ヲ努メテ近イ將來ニ御解決ナサルト云フ御考デアルナラバ、私共ハ政府ニ於テモ異論ノアル所ノ豫備役期間ノ恩給年ニ通算スル解決ハ是ハ至難デアルト考ヘマスカラ、適當ニ考慮シタイト思フ、ソコデ要ハ此問題ハ、若シ政府大藏當局ニ於テ當分屯田兵ノ特別慰藉金ト云フコトハ解決出來ナイト云フコトデアリナラバ已ムヲ得ナイ、政府ガ御反對ナサレテモ、此恩給法改正ノ機會ニ於テ、此豫備役期間ノ恩給年ニ通算スル、屯田兵ノ問題ヲ恩給法ノ改正ニ依ッテ解決スルノ外ハナイト思フ、故ニ此恩給法ノ改正ノ審議ノ上ニ、此屯田兵ニ對スル特別慰藉金ヲ支給スルト否トニ關スル政府ノ御答辯ハ、非常ニ意味重大ナ關係ヲ有ッテ居ル、緊密ナ關係ヲ有ッテ居ルノデアリマスカラ、私ハ茲ニ主計局長ニ對シテ御相談的ニ一ツ希望ヲ申

上ゲテ、重ネテ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、屯田兵ニ關スルコトハ茲ニ重ネテ諄々シク申上ゲマセヌデモ、能ク御承知ノコトデアラウト存ジマスガ、實ハ此豫備役期間ノ恩給年ニ通算シテ貰ヒタイト云フ此屯田兵ハ、毎年死歿者ガ相當數ニ上リマシテ、今日デハ多分一千名内外ト存ジマス、其生存シテ居リマス者モ最早六十ヲ越エテ、七十ニ近イヤウナ者ガ多イノデアリマシテ、實ハ此問題ノ解決ニハ屯田兵達ハ非常ニ焦心シテ居ルヤウナ次第デアリマス、若シ政府ガ特別慰藉金ヲ支給セラレルト云フコトデアラナラバ、無論此屯田兵ノ豫備役期間ノ恩給年ニ通算シテ貰ヒタイト云フ希望ハ、之ヲ拋棄スルコトハ明デアアルノデアリマスシ、又私共モ左様ナ考ヲ有ッテ居ル、一方政府ニ於テモ審議會ニ於テ御決定ニナッテ居ル、此特別慰藉金ヲ受クベキ者ハ、年々死歿者ガ相當數ニ上ル程高齢者ノ方達バカリデアアル、斯様ナ者ニ對シテハ努メテ政府ガ財政上ノ都合ヲ付ケラレテ、一日モ速ニ此決定シテ居リマス所ノ事柄ヲ御實行ニナッテ、サウシテ多年多クノ請願ガアリマスコトヲ此方法ニ依ッテ解決シテシマヒ、サウシテ段々死期ニ近付イテ居ル所ノ高齢者屯田兵ノ人達ガ、國家ノ此恩惠ニ對

スル喜びニ浴セシメタイ、之ヲ私共ハ考ヘマシテ、財政當局トシテハハッキリ何時カラ支給シヨウト云フコトヲ御言明ニナルコトノ中々困難デアアルコトハ、無論能ク承知ヲ致シテ居リマスガ、併シ既ニ最早審議會ニ於テ、種々調査研究ヲ遂ゲラレテ、斯様ナ解決方法ガ決定ヲシテ居リマス以上ハ、即チ當局ハ速ニ此陸軍者ノ要求ヲ容レラレテ、之ヲ解決セラレルト云フコトガ適當デアリナイカト思フノデアリマス、ソコデ昭和九年——此問題ガ審議會ニ於テ決定ヲ致シマシタノハ多分昭和五年カト思ヒマスガ、陸軍省ガ御要求ニナッテ毎年ノ如ク大藏省ハ之ヲ拒絕シテ居ラレル、斯様ナコトヲ毎年々々繰返シテ居リマス、關係スル屯田兵達ハ非常ニ精神的ニ甚ダ同情スベキ心理状態ニ陥ルノデアリマス、又現ニ左様ナ状態ニ陥ッテ居ルノデアリマシテ、是ハ既ニ審議會ノ決定ガアリ、之ニ依ッテ解決スル外ナシト云フコトデアリマスナラバ、努メテ速ニ支給スルト云フコトヲ御言明ニナリ、後ノコトナラバ昭和九年度ニ於テ考慮スルトカ、努メテ近イ將來ニ於テ此解決ノ時機ヲ御言明下サレバ、此政府提案ノ恩給法ノ改正ニ對シテ、私共ガ之ヲ審議致シマス上ニ於テモ、極メテ圓滑ニナリマス、又屯田

兵ノ多年ノ問題ガ解決スル譯デアリマスカラ、此點ニ付テ大藏當局ハ特ニ御考慮ヲ願ヒマシテ、今少シク是等ノ理由ノアル屯田兵ノ請願ニ對シテ、同情ノアル御言明ヲ得タイノデアリマス、是ハ本日デナクテモ宜シノデアリマスカラ、ドウゾ御研究ノ上ニ此委員會中ニ、此事ニ付テ主計局長ヨリ御答ヲ得テ置キマスナラバ、洵ニ此案ノ審議ノ上ニ於テ好都合デアラウカト考ヘマスルカラ、此事ヲ特ニ希望ヲ申上ゲマス

○藤井政府委員 實ハ私モ先年陸軍省ニ設ケラレマシタ兵役義務者及癈兵待遇審議會ノ委員ノ末席ヲ汚シタ一人デアリマス、當時此屯田兵ノ問題ノ審議ニハ實ハ關係致サナカッタノデアリマスケレドモ、審議會全體トシテハ關係ヲ致シテ居ッタノデアリマス、當時審議會ニ於キマシテ調査サレマシタ事項ハ、相當多數デアッタト記憶致シマス、何デモ小委員會ガ三ツバカリ置カレテ、ソレレ／＼分擔シテ審議ヲ致シタト思ッテ居リマスガ、此審議ノ結果ト致シマシテ出來マシタ答申事項ヲ、短期間ニ全部之ヲ決定スルコトニ相成リマス、相當財政上ノ負擔モ考慮致サナケレバナラヌモノデアリマスカラ、大藏省カラ出タノハ私バカリデハアリマセヌデ、他ニモ委員ガ數人出

テ居ッタノデアリマスガ、大藏省カラ出マシ
タ委員ノ者ハ、常ニ財政上ノ關係ヲモ考慮
スル必要ガアリマスカラ、其點特ニ御考ヲ
願ヒタイト云フコトヲ機會アル毎ニ申上ゲ
テ居ッタノデアリマス、隨テ今正確ニ記憶致
シマセヌガ、慥カ答申ノ中ニハ、財政狀態
ヲモ考慮スル必要ガアルノデ、此審議事項
ノ實現ニ付テハ——何ト云フ言葉ヲ使ッテ
アリマシタカ、相當ノ時ガ掛ルモ已ヲ得ナ
イケレドモ、折角審議シタ事デアルカラ、
政府ニ於テモ成ベク之ヲ實現スルヤウニト
云フ風ノ言葉ガアッタ筈ダト記憶シテ居ル
ノデアリマス、是ハ私ノ記憶デアリマス
ガ、多分間違ナカラウト存ジマス、所ガ審
議會ニ於テ決定サレマシタノハ、慥カ昭和
六年デアッタヤウデアリマスガ、其後日本ノ
財界ガ今日ノヤウナ狀態ニナリマシテ、財
政ハ毎年々々悪クハナッテモ好クハナラヌ
ト云フヤウナ狀態デアッタモノデアリマス
カラ、審議會ニ於ケル答申ノ事項ニ付テ
モ、財政上ニ影響ノアルモノニシテ尙ホ解
決ヲ見ナイモノモアル譯デアリマス、併シ
此時局ニ鑑ミマシテ、已ムヲ得ズ認メネバ
ナラヌト云フ譯テ解決ヲ付ケテ居ルモノモ
中ニハアルト思ヒマスガ、全體ト致シマシ
テ折角審議會ニ於テ調査決定サレタ事項デ

アリマスカラ、政府トシテモ勿論之ヲ尊重
致シマシテ、出來ルダケ之ガ實現ヲ圖ルヤ
ウニ努力致スベキコトハ、私カラ申上ゲル
迄モナク當然ノ事トハ思ヒマスガ、御承知
ノ如キ財政狀態デアリマスカラ、遺憾ナガ
ラ其決議事項ニシテ今日マデ實現ヲ見ナイ
モノガアルト云フ狀況デアリマス、ソコデ
昭和九年——トハッキリ言ヘナイトシテ
モ、近キ將來ニ於テ之ヲ解決スルト云フコ
トヲ明瞭ニ言ヘト云フ御言葉デアリマス
ガ、實ハ豫算分科會ニ於テモ申上ゲマシタ
如ク、大藏當局トシテ將來ノ問題ヲハッキ
リト何年度ヨリ、或ハ近キ將來ニ於テ必ズ
之ヲ豫算ニ計上スルト云フ御約束ヲ致シマ
スコトハ困難ナ事情デアリマシテ、其點ハ
何卒御諒察ヲ願ヒタイト考ヘマス、然ラバ
審議會ノ決議ガアッテモ、ソレヲ知ラス額ヲ
シテ居ルノカ、斯ウ仰セラレルト決シテ
サウデハナイノデアリマシテ、審議會ノ決
議ヲ尊重致スベキコトハ當然ノ事ト思ヒマ
スガ、何分ニモ斯ウ云フ財政狀態デアリマ
スノデ、遺憾ナガラ今日マデ實現シ得ナ
カッタ、斯ウ云フ實情ニアルノデアリマ
ス

○林委員 此審議會ニ於テ決定シマシタ特
別慰藉金ノ金額ハ、約百三十萬圓ノ見込デ
アルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス
ガ、是ガ愈々實施セラレマス場合ニ於テハ、金
額ハ減ルコトハアッテモ殖エルコトハナイ
デアラウト思フ、又實際此問題ヲ解決シマ
ス爲ニハ、此百三十萬圓ト云フ金額ガ何モ
有力ナ根據ガアッテ出來テ居ル譯デハナイ
ノデアリマス、是ハ謂ハ、特別慰藉金、其
名稱ガ示シマス如ク、必シモ百三十萬圓ト
決ッテ居ルカラ是ダケノ金額ヲ支給シナケ
レバナラヌモノデアルト考ヘナクテモ宜カ
ラウト思フ、金額ニ於テハ財政ノ關係ニ
依ッテ相當手心ヲ加ヘテモ宜カラウト思フ
ノデアリマス、ソコデ只今主計局長ノ御話
ニナリマシタヤウニ、ハッキリ昭和九年度ニ
於テ之ヲ解決シテヤルト云フコト、即チ將
來ノ約束ヲスルコトハ困ルト云フコトデア
リマス、御尤デアリマス、併シ要スルニ此
問題ハ大藏省トシテモ極力誠意ヲ以テ此解
決ニ努メテヤルト云フ御考デアアルカドウ
カ、唯財政困難デアアルカラシテ當分ハ問題
ニナラナイト云フコトデ遁ゲラレルカ、大
藏省ノ此問題ニ對シテノ御考ガ、今日請願
致シテ居リマス屯田兵達ニハ色々ニ響クノ
デアリマス、ソコデ私ハ更ニ御相談申上ゲ
マスガ、斯様ナ御答辯ハ出來ナイモノデア
リマスカ、昭和九年度ニ於テ之ヲ解決スル

ト云フ御言明ハ、即チ豫算ヲ必ズ計上シテ
提案スルト云フコトノ御言明ト同様ニナル
ノデアリマスカラ、是ハ御困難デアリマシ
テモ、昭和九年度ノ豫算編成ニ方ッテハ、極
力此問題ノ解決ノ爲ノ經費ヲ計上スルコト
ニ御努力下サルト云フコトノ御言明ハアッ
テモ、別段御差支ナイモノデハナイカト考
ヘルノデアリマスガ、此程度ノ御答辯ハ出
來ナイデアリマセウカ

○藤井政府委員 先刻申上ゲマシタ如ク、
大藏當局ト致シマシテハ各方面ヨリ各種ノ
要求ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、肚ノ中
デ思ッテ居ル事ガアル場合ニ於キマシテモ、
責任ヲ以テ申上ゲ得ナイ場合ガ數々アルノ
デアリマス、斯様ナ席上ニ於キマシテ、近キ
將來ニ於テ大藏當局トシテ解決ニ努力スル
ト云フコトヲ明言致スコトハ非常ニ困難ヲ
感ズルノデアリマス、先刻申上マシタ通り、
審議會ノ決議事項ヲ尊重スルコトハ是ハ勿
論デアアルト思フノデアリマシテ、成ベク其
決議ガ實現サレルヤウニ、併シ又其實現サレ
マス場合ニ於キマシテハ、他ノ給與トノ權衡
ヲモ考ヘネバナラス、若シ其解決ノ仕様如何
ニ依ッテハ、更ニ又第二第三ノ不公平ナル現
象ヲ惹起スルコトヲ避ケネバナラス、斯様
ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、率直ニ申

上ゲマス、林委員ハ屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給年限ニ通算シテ貰ヒタイト云フ御主張ノヤウデアリマスガ、假ニサウ云フ事ヲバ實行スルト致シマシテ、ソレデ問題ガ最終的ニ決定サレルカト云フト、

實ハ私此屯田兵ノ事ニ付テハ不案内ノ點ガ多イノデアリマスケレドモ、矢張問題ハ殘ルノデハナカラウカ、豫備役期間ヲ通算スルコトニ依ッテ恩給ヲ新ニ支給ヲ受ケ、若クハ今受ケテ居ル恩給ヲ更ニ裁定ヲ仕直シテ増額ヲシテ貰ヘル人達ハ、是デ救済サレルノデアリマスガ、折角豫備役期間ヲ通算シテモ尙ホ救済サレナイ人ガ若シ殘ルト致シマスナラバ、其人達ハ矢張問題ヲ後ニ殘スノデハナカラウカ、大藏省ノ吾々トシテ事務ヲ取扱ヒマス場合ニ於テハ、給與ノ問題ニ付テハ餘程親切ニ各方面ノ事ヲ考ヘテ置キマセヌト、或ル一部ノ人ヲ救済スルコトハ出來マシテモ、ソレニ關聯シテ若クハソレガ爲ニ更ニ第二第三ノ不公平ヲ惹起シテ問題ヲ起スト云フコトガアリマシテハ、是ハ適當デナイト考ヘマスノデ、矢張サウ云フコトモ色々ナ考慮ヲ致サナケレバナラヌ状態ニアルノデアリマシテ、今日ノ場合九年度若クハ近キ將來ニ於テ必ず之ヲ解決スルヤウニ努力スルト云フコトヲ明言シロ

ト云フ御趣旨ハ、御立場トシテハ御尤ト存ジマスケレドモ、大藏省ニ居リマス者トシテハ、責任ヲ以テ申上ゲルコトニハ甚ダ困難ヲ感ズルト云フ事情ヲ御諒察ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○林委員 此審議會ノ決定ニ依ッテ百三十萬圓ノ支出ヲ決定スルニ當ッテハ、他ノ關係ヲ考慮シナケレバナラヌ、假令財政上此支出ガ出來ルニシテ見テモ、此爲ニ更ニ不公平ナル問題ガ起ッテ來テハナラナイ、左様ナ關係ヲ十分調査シナケレバナラヌト云フコトデアリマスルガ、此審議會ガ決定シマシテ以來、既ニ四ヶ年ノ日數ヲ經テ居リマスガ、一體大藏省デ御考ヘニナッテ居ル此問題ノ解決ニ依ッテ又他ニ新ナル不公平ナル問題ガ起ルト云フコトハ、ドウ云フ事實ガアルノデアリマセウカ、既ニ此事柄ハ審議會ノ決定ヲ財政的ニ御扱ヒニナル上ニ於テハ、左様ナコトヲ御研究ニナッタ上デノ御言葉デアラウト思フノデアリマスルガ、ドウ云フ事實ガアルノデアリマセウカ

○藤井政府委員 言葉ガ少シ足ラナカッタカモ知レマセヌガ、御意見ハ其屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給ニ入レト云フ御趣旨デアラウト云フコトヲ、前提トシテ申上ゲタノデアリマスガ、只今問題ニナッテ居リマス

現役期間ニ應ジテ一時恩給ヲ支給シロ或ハ週及給與シロ、前戸主ノ服役期間ヲ通算シロト云フヤウナ問題ヲ全部引括メマシテ、ソレデ相當ノ金額ヲ出セバ先ヅ一應ハソレデ或ハ解決サレルカモ知レマセヌガ、若シ豫備役期間ノ問題ダケヲ一時救恤金デ救済致シマシテモ、更ニ現役期間ニ對シテ一時恩給ヲ支給シロト云フ要求ノ方ハ、恐ラクソレデ満足シナイデハナカラウカ、斯様ニ私ガ想像致シタノデアリマシテ、總テ斯ウ云フ問題ニ付テハアリ勝チノコトデアリマシテ、要求サレル方ノ立場カラ見レバ御尤ト思フノデアリマスガ、解決ノ仕様ニ依ッテハ矢張問題ヲ後ニ貽スト云フ危險ヲ伴フノデハナカラウカト思ヒマシテ、サウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○林委員 主計局長ハ他トノ權衡上或ハ他ニ不公平ガ起ルト云フヤウナコト、其爲ニ問題ガ解決シナイト云フヤウナ言葉ノ内容ハ、屯田兵ノ問題自體ニ於テモ幾ツモ請願ガアルノデアアルカラシテ、屯田兵ノ問題ソレ自體ガ此審議會ノ決定ヲ實行シテモマダ問題ハ根本的ニ解決シナイ、斯様ナ御趣旨デアアルコトガ明瞭致シタノデアリマス、ソコデ私ハ非常ニ安心シタノデアリマス、若シ此屯田兵ノ問題ヲ解決スルコトニ依ッテ

屯田兵以外ノ問題ニ波及シテ、一層財政的ニ困難ヲ惹起スルト云フコトナラバ、是ハ容易ナラヌコトデアルト考ヘタノデアリマスガ、今申上ゲマシタ如ク、主計局長ノ御答ハ屯田兵ソレ自體ニ於テノ問題ガ是ノミニ於テ解決シタイト云フコトデアアルナラバ、是ハ極メテ容易ナ問題デアアル、左様ニ重大ニ御考ヘニナラナクテモ宜イデハナイカト思フノデアリマス、ソレハ此審議會ノ決定ガ示シテ居リマスヤウニ、屯田兵ニ關スル請願ハ四ツアル、即チ大正十二年現行恩給法施行ニ伴ヒ、同年以前ノ期間ニ對スル恩給週及支給ノ件ハ認容スル限リニアラズト、此問題ハ審議會ニ於テモ御決定ニ

ナッテ居ル、之ニ付テハ私ハ請願委員會等ニ於テモ別ノ意味ニ於テ意見ヲ申上ゲテアルノデアリマシテ、何レ此恩給法委員會ニ於キマシテモ此問題ニ付テ最後の解決ヲシテ置キタイ、是ハ論議ノ上ニ於テ解決ヲシテ置キタイ、法律ニ手ヲ觸レルト云フコトハ到底出來得ベカラザル性質ノモノデアルト考ヘマスカラ、大體ニ於テ此審議會ノ決定ハ是ハ妥當デアルト思フノデアリマス、併シ屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給年限ニ通算スルト云フコト、現役服務期間ニ對スル一時恩給ヲ支給スルト云フコト、前戸主ノ服役

期間ヲ恩給年限ニ通算ノコト、此三ツハ共ニ屯田兵役義務ノ特殊性ニ鑑ミ同情スベキ點ガアリマスノデ、一時金ヲ支給スルコトニ依ッテ最後の解決ヲスル、斯ウ云フコトデアル、然ラバ屯田兵ノ問題ハ悉ク此一時金ヲ支給スルコトニ依ッテ解決ヲスルノデアアル、是レ以外ノ請願ハアリマセヌ、又アルベキ筋合ノモノデハナイノデアリマス、是ガ總テノ屯田兵ノ問題ヲ解決スル所ノ唯一ノ方法デアルトスルナラバ、屯田兵ノ問題ソレ自體ニ於テ、此支出ヲスルコトニ依ッテ新ニ不公平ガ起リ、問題ガ起ルト云フ御懸念ハ毫末モ無イノデアリマス、故ニ此點ニ付テハドウゾ御安心ヲ願ッテ置キマス、先刻ノ御答辯ニ依リマス、此支出ニ御努力下サルコトノ御言明サヘモ容易デナイト云フコトデアリマスガ、併ナガラ私共ハ之ニ對シテモウ少シ誠意アル大藏省ノ御答辯ヲ得ナイト云フト、遂ニ恩給法ノ政府案ノ修正ニマデ突進マナケレバナナイカト思フ、若シ此恩給法ノ修正ニ依ッテ此問題ヲ解決スルト云フコトニナレバ、是ハ主計局長ノ御心配ニナッテ居リマス如ク、屯田兵ノ問題ハ依然トシテ殘ル、恩給法ノ改正ニ依ッテ豫備役期間ヲ恩給年限ニ通算スル問題ノミハ解決スルデアラウガ、他ノ二ツノ問題、

即チ現役服役期間ニ對スル一時恩給ヲ支給スルコト、前戸主ノ服役期間ヲ恩給年限ニ通算スルコトノ此二ツノ問題ハ、矢張審議會ノ決定ノ通りニ特別慰藉金ヲ給スルニアラザレバ解決シナイト云フコトニナリマスカラ、問題ヲ二ツノ方法ニ依ッテ辛ウジテ解決スルト云フコトニナリ、益紛雜ヲ來スノデアアル、又財政的ニ見テモ決シテ巧妙ナル方法デハナイノデアリマス、ソコデ私共ハ財政當局ノ御考ノ通り、此問題ノ最後の解決ヲスルニハ審議會ノ決定ヲ實行スルコトガ最モ適當ナ方策デアラウト思フノデアリマスカラ、是ハ主計局長ハ今左様ナ御言明ガ出來ナイニシテモ、尙ホ大藏部内ニ於テ此問題ニ對シテノ議ヲ鍊ラレ、此委員會中ニ於テ今少シ此問題ニ同情ノアル、誠意ノアル御答辯ヲ得ルヤウニ、委員長カラ特ニ御諮リヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ大藏當局ニ對シマシテノ質問ハ此程度デ打ちリマスカラ、若シ只今ノ私ノ質問ニ對シテ御答辯ガ出來マサルナラバ、拜聴致シタイト思ヒマス

○津崎委員長 別ニ今答辯ハ無イサウデスガ……

○林委員 私ハ此場合前回ノ此委員會ニ於テ私ノ申シマシタ事柄ニ付テノ間違ッテ居

リマシタ點ヲ、此際訂正ヲ致シテ置キタイト思ヒマスカラ、ドウゾ御聴取ヲ願ヒタイト思ヒマス、最初三ヶ年ノ屯田兵條例ニ依ッテ徵募サレタモノガ七ヶ年ニ延長セラレタ、此七ヶ年ニ延長セラレルニ當テハ、其該當致シマスル屯田兵ハ志願シタノデアルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハ調べマシタ所ガ、事實ニ相違ノ點ガアリマスカラ、此分ハ御取消ヲ願ヒマス、ソレカラ屯田兵ノ制度竝ニ其實情ニ付テ最モ精シク承知シテ居ラレル所ノ陸軍ノ先輩デアル、多分後ノ陸軍大佐デアラレタト思ヒマスカ、大塚嘉輝ト云フ人が札幌市ニ現住シテ居ラレト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ東京市ノ杉並區天沼一丁目二百九十七番地、此處ニ現住シテ居ラレルノデアリマス、陸軍省ニ於テ色々調査上ノ御便宜モアルカト存ジマスカラ、此機會ニ於テ此事ヲ申上ゲ、前回ニ申述マシタコトノ御訂正ヲ願ヒタイト存ジマス

○津崎委員長 大藏當局ニ對シテ尙ホ御質問ノ方ガアリマスカラ、今ノ場合ニ願ヒタイト思ヒマスカ、アリマセヌカ——一寸此場合ニ私カラ今ノ問題ニ付キマシテ、陸軍當局ニ御尋致シテ置キタイノデアリマス、此特別慰藉金ト云フモノヲ大藏省ニ要

求セラレタト云フヤウニ今林サンカラ承ッタノデアリマス、其實實ノ有無ハ私ハ問ヒマセヌガ、サウ云フモノヲ要求セラレルトスレバ、ドノ位ノ金額ノ御見込デアリマスカ、陸軍當局ハ分ッテ居リマスカ

○中井陸軍歩兵大佐 省議ノ決定ハ能ク承知シテ居リマセヌカラ、後カラ調べマシテ御答申上ゲマス

○津崎委員長 是ハ一ツ大體ドノ位ノ金額デアルカラ陸軍トシテ御調ヲ願ヒタイト思ヒマス——江藤君

○江藤委員 次ニ御尋致シタイト思ヒマスノハ、軍人ノ公傷ト文官ノ公傷トハ大ニ其趣ヲ異ニスル點ガアリマスノデ、軍人ノ公傷ハ戰傷ト同ジダケノ恩給額ヲ給セラレタイト思フノデアリマス、名稱ハ公傷ト戰傷トニ區別シテ置イテ宜イノデアリマスカ、其實質デアル恩給額ハ其性質ノ上カラ考ヘマシテ、何等區別スル所ガナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、軍人ノ公傷ハ所謂演習トカ機械體操トカデアルコトガ多イノデアリマス、是ハ上官ノ命令ニ依ッテヤル仕事デアッテ、軍紀ノ維持ノ上カラ申シマスレバ、戰闘ニ依ッテ負傷ヲシタモノト、何等區別ガナイト思ハレルノデアリマス、一步讓リマシテ平時内地ニ於ケル演習其他ノ場合

ニ於ケル負傷ヲ除外致シマシテモ、戦地ニ於ケル公傷デアリマス、同ジク戦地ニ參ッテ居リマシテ、後方デ負傷ヲ致ス、何カ凍傷ヲスルトカ、物ヲ運ンデ居ッテ怪我ヲスルトカ云フヤウナノガ公傷ニナッテ居ルノガ段々アルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナモノハ法規上公傷トシテ御認メニナルコトニ於テハ已ムヲ得スト致シマシテモ、其受ケル金額ハ戦傷ト同様ノ金額ヲ給シタイト思フノデアリマス、之ヲ御調査願ヒマシタ所ガ、僅ニ二十七萬圓餘デ是ガ出來ルノデアリマスガ、サウ云フ御意思ガ政府ト致シマシテハ御有リニナラヌノデアリマセウカ、伺ヒタイ

○樞員政府委員 同ジ公務ノ爲ニ傷病ニナリマシテモ、是ガ戦争又ハ戦争ニ準ズベキ公務ニ依リマシテ受ケマスル場合ト、其他ノ普通ノ公務關係ヨリ生ジマスル場合トニ差別ヲ設ケルコトガ正當デアルト考ヘテ居リマス、ソレガ戦争又ハ戦争ニ準ズベキヤウナ、例ヘテ申シマスレバ、文官側ニ於キマシテモ巡查ガ共産黨員ヲ逮捕ニ防彈「チヨッキ」デ身ヲ固メテ向フヤウナ場合ニ於キマシテハ、負傷或ハ死亡ト云フヤウナコトヲ覺悟デ行カナケレバナラヌ場合ガアリマス、他ノ普通ノ公務ニ起因致シマスル場合

ニハ、或ハ怪我ヲスルカモ知レヌト云フコト位ハ考ヘラレマスケレドモ、殆ド必然的ニ怪我ヲシ、或ハ生命ヲ失フト云フヤウナコトヲ覺悟シテ行ク場合チヤナイノデゴザイマスカラ、其間ニ區別ヲ設ケルコトガ正當デアッテ、ソレヲ同ジニスルト云フコトハ、却テ非常ナ不公平デアルヤウニ考ヘテ居リマス、隨テ同ジ金額ヲ之ニ持ッテ行クト云フコトハ、政府トジテハヤリタクナイト考ヘテ居リマス

○江藤委員 次ハ普通恩給ヲ受ケル資格無キ者ガ増加恩給ニ當ルベキモノヲ受ケル時ハ、普通恩給ヲ給サレルノデアリマスカラ、普通恩給ヲ受ケル資格ノ有ル者ガ、負傷致シマシテ増加恩給ヲ受ケル場合ニハ、普通恩給ノ二倍ヲ給スルコトガ至當デアラウト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ
○樞員政府委員 普通恩給ヲ受ケルニ足ル在職年數ガナクテモ、公務病傷ニ依リマシテ不具癱疾ノ程度ニ至リマス、普通恩給ヲヤルト云フコトハドウ云フコトヲ意味スルカト云フコトヲ申上ゲレバ、自然御了解ニナルコト、考ヘマス、不具癱疾ニナリマシテ之ニ増加恩給ヲヤリマス云フコトハ、先程モ一寸ソレニ觸レテ申上ゲタノデアリマスガ、公務員ガ能力ヲ減損致シマス

ニ付テハ、二様ノ失ヒ方ガアリマス、永年ノ間ニ徐々ト失ッテ行ク、言換ヘレバ在職年間ガ長クシテ能力ヲ失ッテ行クコトモアリマス、モウ一ツハ急激ニ失フ場合ガアリマス、普通公務病傷ニ依リマシテ能力ヲ失ヒマスノハ、大抵急激デアリマス、徐々ニ失フ場合ト云フモノハ非常ニ珍シイノデアリマス、デアルカラ在職年數ノ長短ニ拘ラズ、公務ニ依リ能力ヲ失ッテ行ク程度ニ應ジテ、之ニ恩給ヲヤル、斯ウ云フ事ガ至當デアリマス、ソコデ不具癱疾ノ程度ニナリマシタ者ハ、在職年數デ申シマスレバ普通恩給ヲ給セラレル程度ニ達シタモノト大抵考ヘテ宜シイ、斯ウ云フ事カラヤッテ居リマス、之ヲ年數ノ方ガ長クテ普通恩給ニナルヤウナ場合ニ、普通恩給ノ二倍ニスルト云フコトハ、今申シタヤウナ性質カラ必シモ至當デナイト思ヒマス

○江藤委員 是ハ八角委員カラ御質問ニナッタコトデ重複スルノデアリマスガ、特ニ肝要ト思フノデ御尋シマス、四十歳迄ノ受恩給者ノ恩給額ヲ減額スルト云フコトニ付テハ、武官ニ付テハ是非除外例ヲ設ケラレタイト思フノデアリマス、文官ト武官トノ差ノアルコトハ恩給ノ基礎年限其他ニ於テ區別セラレテ居ル次第デアリマス、私ガ説

明スル迄モナク明瞭デアリマスガ、此場合ニ於テモ文官ト武官トニ差ヲ設ケマシテ、サウシテ武官ニ限ッテハ減額ヲシナイ、特ニ是ハ下級者ヲ優遇スルト云フ意味ニ於キマシテモ其必要ナルコトヲ痛感スルノデアリマス、此點ニ付テ尚ホ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○樞員政府委員 若年者ニシテ恩給ヲ受ケベキ者ノ恩給停止ニ關シマシテハ、今回提案致シマシタ法案デ採リマシタノ程度ガ、實ハ最低ト考ヘテ居リマス、隨テ若シ假ニ之ニ差別ヲ認メルスルナラバ、文官殊ニ巡查ヤ、看守、山林主事ナドノ恩給デゴザイマスガ、ソレノ方ノ停止程度ヲ高メルト云フコト以外ニハ、實際問題トシテハ考ヘ得ラレナイノデアリマス、併シハ私達ノ見マスル所デハ、サウ差別ガアルトハ考ヘナイ、現ニ外ノ規定ニ於キマシテハ、今回例ヘバ在職年數、即ト恩給ニナリマス最低年限ノ延長ナドニ付キマシテモ、下士以下ノ軍人ハ巡查、看守ト出來タ結果ヲ同ジニシヨウト云ウ譯デ、延長一年ニ止メ、巡查看守ニ付テハ二年ヲ延長シテ置クト云フヤウナ、其邊カラ申シマスルト、寧ロ差別的ナコトニナリマスケレドモ、サウシタ結果ガ丁度公平デアルト云フコトガ考ヘラレマスノ

デ、此停止ノ點モ實ハ此程度ガ一番公平デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、而シテ軍人ノ分ニ付テ考ヘテ見マシテモ、此程度ノ停止ガ非常ニ微温的デ、是ガ最低限度ト考ヘテ宜カラウト考ヘマスノデ、此間ニ差別ヲ設ケル必要ハドウモナイヤウニ考ヘテ居リマス

○江藤委員 私人質問ハ是デ終リマス

○津崎委員長 宮澤君、何カ御質問ガアリマスカ

○宮澤委員 時間ガ多少餘裕ガアルヤウデアリマスカラ、然ラバ質問致シマシテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、私共能ク同志トモ話シテ居リマスコトデアリ、又前ニ質問致シマシタ場合ニモ、恩給法改正ハ財政的ニモ考慮シナケレバナラヌガ、同時ニ社會政策的ニ之ヲ改正シナケレバナラスト云フコトヲ以テ當局ノ意見ヲ質シタノデアリマス、本案ニ付テ十分検討スベキ暇ガアリマセヌデモ、大體此種ノ改正案ニ見、又御答辯モ承ッテ居リマスガ、尙ホ私共ノ期待ニ副フコトハ大分遠イヤウニ思ハレル、然ラバドノ點ヲドウ云フ風ニ改正シテ、此目的ニ合スルヤウニ御提示ガアリタイト云フコトノ吾々ノ意見ハ、遺憾ナガラ斯ウ云フ複雑ナル案デアリマスルガ爲ニ、只今申上ガ兼

ネテ居ルノデアリマス、恩給局長ハ多年之ニ御苦心ニナッテ居リマスカラ、萬遺漏ナク最善ヲ期シテ御提案ニナッタ思ヒマスケレドモ、私共ノ意ノ存シマスル所ヲモウ一遍一ツ御考慮願ッテ見タイト云フコトヲ、此際特ニ御願致シマス、只今ノハ是ハ希望デアリマスガ、次ニ質問致シマスノハ、實ハ恩給ヲ受ケテ居リマスル者ニシテ、此恩給ヲ國家ニ返還スルトカ、或ハ御辭退スルト云フヤウナ話ヲ時々聞クノデアリマスガ、從來サウ云フヤウナモノ、扱ヒハドウ云フ風ニ致シテ居ラレマスカ、又將來ドウ云フ風ニ致サレル御考デアルカ、之ヲ一ツ御答辯願ヒタイノデアリマス

○樋貝政府委員 前段ノ御希望ニ付キマシテハ、絶ヘズ恩給當局ト致シマシテモ、現在ノ恩給法ガドウデアルカ、ソレガ實際ノ事情ニドウ云フ風ニナッテ行クカト云フコトハ、絶ヘズ考慮ヲ拂ッテ居リマスノデ、只今ノ御希望ノヤウナ事情ニ付キマシテモ、將來絶ヘズ注意致シテ參ル積リデ居リマス、ソレカラ受恩給者ニシテ、恩給ヲ辭退スル者ガアルガ、ソレニ對シテハドウ云フヤウナ態度ヲ執ルカト云フ御話デゴザイマスガ、受恩給者ニ致シマシテ恩給ヲ辭退致シマシタ例ハ、今迄私ノ知ッテ居リマス範

圍ニ於キマシテハ、最近ニ於キマシテ唯一件アリマシタバカリデアリマス、是ハ癩兵デアッテ、増加恩給ヲ貰ッテ居ル者ガ少シク傷病ノ程度ガ良クナッテ居ルカラ、一割ダケ減ラシテ呉レト、斯ウ云フヤウニ申出デアリマシタ、其以外ハ現ニ恩給ヲ貰ッテ居ル者デ、ソレデ恩給ヲ辭退シタ者ハ全然ゴザイマセヌ、恩給ヲ請求セズシテ、ソレヲ時効ニ掛ケテシマッタノハ、是ハ幾ツモアリマス、其最モ顯著デアッタノハ乃木將軍閣下デ、閣下ハ御令息二人ニ對シテ、其親トシテ扶助料ヲ二個御貰ヒニナル筈デアリマシタケレドモ、全然之ヲ御請求ニナリマセヌデ、時効ニ掛ケテオシマヒニナッタ、其外サウ云フヤウナ、一種ノ恩給辭退デアリマスガ、サウ云フモノハ相當ニアリマスケレドモ、ソレハ無論法規ノ上デ時効ニ掛リマシタノハ再び請求スル權利ハナイノデゴザイマスカラ、當然消滅致シマス、其他請求シテ恩給權ガ確定サレテ後ニ、其恩給ノ全部又ハ一部ヲ拋棄シタト云フヤウナコトハ今日マダゴザイマセヌ、ソレデ只今申シマシタヤウニ、傷病ノ程度ガ直ッタカラ其一部ヲ減額シテ呉レト申出デタ者、ソレヲドウ取扱ッタカト云フコトニナリマスガ、之ニハ此委員會デ申上ゲルノニ甚ダ不適當ナル

事情ガ其處ニ伏在シテ居リマスノデ、其儘ニ致シテアリマス、其動機ニ關シマシテ少少疑問ガアリマスノデ、ソレヲ目下具體的ニ調査致シテ居リマス、ソレ以外ニアリマセヌカラ、今迄ドウシテ居ッタカト云フコトニ付テハ、別ニ御答出來ナイ次第デアリマス、然ラバ將來ニ於テ辭退スル者ガアッタナラバドウスルカ、是ハ、其權利ノ拋棄ニ特別ナ弊害ヲ認メナイ限り、サウ云フ事情ガナイ限り、權利ノ拋棄ハ宜シイト思ヒマス、唯一部ヲ拋棄スルト云フヤウナ事情ニ付キマシテハ、尙ホ考慮ヲ拂ハナケレバ困ルト思ヒマス、マダ具體的ノ問題ガ起ッタト申ス譯デハアリマセヌガ、斯ウ云フコトガ考ヘラレマス、恩給ヲ擔保ニ入レテ居ル、サウシテ證書ハ明瞭ニ保管サレテ居ル、證書ノ再交付ヲ求メヤウト思ッテモ、恩給證書ガ明瞭ニ存在シテ居ル爲ニ再交付ハ求メラレナイ、ソコデ一部ノ減額ヲ請求スル、減額シテ貰ヒタイト云フコトヲ請求シテ之ニ依ッテ、新證書ヲ手ニ入レルト云フヤウナ方法ヲヤレバヤリ得ルコトデアリマス、是ハ一種ノ詐欺デアリマス、法ガ禁止シテ居ル擔保ヲ其儘ニ脱法致シマシテ、サウシテサウ云フ方法デ更ニ詐欺ヲ行フ、サウ云フコトニ引掛ラナイヤウニト云フ用心ダ

事情ガ其處ニ伏在シテ居リマスノデ、其儘ニ致シテアリマス、其動機ニ關シマシテ少少疑問ガアリマスノデ、ソレヲ目下具體的ニ調査致シテ居リマス、ソレ以外ニアリマセヌカラ、今迄ドウシテ居ッタカト云フコトニ付テハ、別ニ御答出來ナイ次第デアリマス、然ラバ將來ニ於テ辭退スル者ガアッタナラバドウスルカ、是ハ、其權利ノ拋棄ニ特別ナ弊害ヲ認メナイ限り、サウ云フ事情ガナイ限り、權利ノ拋棄ハ宜シイト思ヒマス、唯一部ヲ拋棄スルト云フヤウナ事情ニ付キマシテハ、尙ホ考慮ヲ拂ハナケレバ困ルト思ヒマス、マダ具體的ノ問題ガ起ッタト申ス譯デハアリマセヌガ、斯ウ云フコトガ考ヘラレマス、恩給ヲ擔保ニ入レテ居ル、サウシテ證書ハ明瞭ニ保管サレテ居ル、證書ノ再交付ヲ求メヤウト思ッテモ、恩給證書ガ明瞭ニ存在シテ居ル爲ニ再交付ハ求メラレナイ、ソコデ一部ノ減額ヲ請求スル、減額シテ貰ヒタイト云フコトヲ請求シテ之ニ依ッテ、新證書ヲ手ニ入レルト云フヤウナ方法ヲヤレバヤリ得ルコトデアリマス、是ハ一種ノ詐欺デアリマス、法ガ禁止シテ居ル擔保ヲ其儘ニ脱法致シマシテ、サウシテサウ云フ方法デ更ニ詐欺ヲ行フ、サウ云フコトニ引掛ラナイヤウニト云フ用心ダ

ケハ致シマスガ、恩給局ガ詐欺ノ手先ニ
ナッテ、其箇ニ踊ルト云フヤウナコトハシタ
クナイト考ヘテ居リマス、弊害ノナイモノ
ニ付キマシテハ、假ニ全部抛棄スルトスレ
バ、是ハ抛棄ハ可能ト考ヘテ居リマス

○宮澤委員

只今御答辯ヲ承クツノデアリ
マスガ、其御答辯ノ中ニ、恩給ヲ擔保ニ入
レル云々ト云フ御話ガアリマシタガ、第十
一條ニ擔保ニ供スルコトヲ明ニ禁止シタ規
定ガアル、能ク私共話ニモ聽イテ居ルノデ
アリマスガ、又實際自分等ノ關係者ニ於テ
モサウ云フ遣リ方ヲヤッテ居ル者ガアルノ
ハ、恩給ヲ擔保ニ入レテ金ノ融通ヲ受ケル、
要スルニ恩給ト云フモノハ事實高利貸ノ財
源ニナッテ居ルヤウナ傾向ガアルノデハナ
イカト思フノデアリマス、此法文ト云フモ
ノハドノ程度ニ厲行サレテ居ルノデアリマ
スカ、又此法文ニ牴觸シテ居ナイ恩給ガ、
サウ云フヤウナ高利貸ノ手ニ依ッテ扱ハレ
テ居ルノデアルカ、私ハ餘リサウ云フコト
ヲ存ジマセヌカラ、之ヲ御教ヘテ願フノデ
アリマスガ、若シ禁止ヲサレテ居ルモノガ
サウ云フ風ニ扱ハレテ居ルトスルナラバ、
是ハ由々シキ違法事項デアラウト思ヒマス
ガ、是ハドウ云フ風ニシテ御取締ニナッテ
居ルノデアルカ、私能ク往來ニ散見致シマ

スルノニ、恩給擔保資金融通ト云フヤウナ
看板ヲ堂々ト掲ゲテ居リマスル高利貸ト申
シマセウカ、金融業者ト申シマセウカ、サ
ウ云フ者ノ看板モアルノデアリマス、此十
一條ノ規定トハ極メテ柄鑿相容レザル看板
ダト思ッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ
コトヲ一ツ御伺致シタイ、當局者ハ此恩給
ヲ擔保ニ入レルト云フヤウナモノガアルト
云フコトヲ御認ニナルノデアリマスナラ
バ、果シテドノ程度ニ恩給ガ此高利貸ノ手
ニ依ッテ扱ハレテ居ルカ、言ヒ換ヘレバ恩
給ノ一般受給者ガ何割位ノモノヲ金融業者
ノ手ニ依ッテ金ノ融通ヲ受ケ、或ハ是等ノ手
ニ奪ヒ上ゲラレルヤウナ結果ニナッテ居ル
カト云フコトノ御調ガアルナラバ、重ネテ
御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○樋貝政府委員

恩給ノ擔保ハ只今申上ゲ
マシタヤウニ、法律ニ於テ禁止ヲ致シテ居
リマス、隨テ是ハ擔保ニ取ルコトモ擔保ニ
供スルコトモ違法行為デアリマス爲ニ、其
擔保ハ擔保トシテノ效力ヲ生ジマセヌノ
デ、今日裁判所ニ參リマスレバ、無論其擔
保ハサウ云フヤウナ效力ヲ生ジナイモノト
シテ總テ取扱ハレテ居ルノデアリマシテ、
即チ擔保ニ供シテモ、供シタコトニハ法律
上取扱ハレマセヌノデ、ソレ以上ニ取締ル

ト云フ必要ハ其點ニ於キマシテハナイ、隨
テ恩給ハ受給者ニ給與スベキモノデアリ、
又現ニ證書ガアレバソレニ給與シテ居ルノ
デアリマス、事實ハ證書ヲ渡シタ爲ニ給與
ガ受ケラレナイ、債權者ニ證書ヲ現ニ渡シ
テ居ル爲メ、其證書ヲ提示スルコトガ出來
マセヌカラ給與ガ受ケラレナイ、斯ウ云フ
狀態ニナッテ居リマス、證書ガ再ビ手ニ入リ
サヘスレバ何時デモ給與ガ受ケラレル、斯
ウ云フ狀態ニナッテ居リマス、其點ダケハ
別ニ取締ノ必要ハナイト考ヘテ居リマス、
ソレカラドノ程度デ擔保ニ入ッテ居ルカト
申シマス、是ハ擔保ニ供スルコトガ違法
行為デアル爲ニ、又擔保ニ取ルコトガ同時
ニ違法行為デアル爲ニ、内密ニ脱法的ナ方
法ニ依リマシテソレガ實行セラレテ居ル、
其一番多イ例ハ委任受領ト申シテ居リマ
ス、代理受領、又ハ委任受領ト申シテ居リマ
スガ、債權者ニ委任狀ヲ渡シマシテ、サウ
シテ債權者ヲ自分ノ代理人ト云フ形ニ拵ヘ
テ、恩給受給ヲ受ケテ居ル、サウシテ其間ニ
金利モ拂ヒ、多クノ場合ニ於キマシテハ生命
保險ヲ付ケタリシテ、或ル時期マデ恩給證書
ヲ向フニ委託シテ代理人タル金貸ガ取得シ
テシマフ、サウシテ貸金トソレニ對スル利息
ニ充當スルコトニナリマス、サウ云フ形デ

アリマス爲ニ、恩給局トシテハ代理受領ノ
形ニナッテ居ルモノダケヲ調ベルコトハ出
來マスガ、ソレ以外ノ形ニ於テ擔保ニ入レ
タモノハ調べラレナイノデアリマス、或ル
數ハアルグラウト想像ハ致シマススケレド
モ、現實ニ調ベルコトハ出來ナイ、代理受
領ノ形ニ於テ今日受取ッテ居リマス者ハ恩
給受給者ノ約二割、恩給金額ノ二割ニナッテ
居リマス、是ハ時ニ依ッテ非常ニ違ヒマシ
テ、大正六年ニ於キマシテハ、軍人ニ付テ
調査致シマシタ所ハ約六割、金額ニ於テ約
六割、文官ニ於テ一割二分位ニナッテ居ル、
大正十二年現行恩給法ヲ制定致シマシタ時
ニ恩給金額ヲ變ヘテ新證書ヲ一般ニ交付致
シマシタ時ニ、私當時矢張局ニ當ッテ居リ
マシタガ、實際ノ受給者ニ其證書ヲ渡サウ
ト云フ方法ヲ執リマシタ爲ニ、高利貸ナド
ハ一大恐慌ヲ來シタラシイノデゴザイマス
ガ、其結果擔保ニ入ッテ居ル物ハ餘程減ッテ
參リマシタ、併ナガラ爾後十年ヲ經過シテ
居リマスカラ、矢張サウ云フモノハ相當殖
エテ居ルグラウト云フコトハ、新聞ナドニ
恩給金融ナド、云フ見出しガ相當アリ、所
所ニサウ云フ民間ノ廣告ナドノアリマスコ
トニ依ッテ想像サレルノデアリマス、其貸付
ノ條件ナドハ非常ニ殘酷ナモノデアルコト

モ内々存ジテ居リマス、併シ一方カラ申シマス、受給者ノ方モ之ヲ詐欺ノ材料ニ使ヒマスコトガ非常ニ多イノデ、此點ニ付テ動モスレバ恩給當局ガソレニ引掛ケラレ、手先ニナッテ踊ルト云フヤウナコトニナリ勝チデ、ソレモ警戒致シテ居リマス、サウ云フヤウナ事情デアリマシテ、正確ナ數字ハ調べラレナイ状態ニアリマスガ、推定致シマスルト、今ノ代理受領ノ分ト共ニ他ノ分モ相當アルノデハナイカト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス

○宮澤委員 代理受領ニ依ル者ガ凡ソ二割、其他ハ分ラスト云フコトデアリマスガ、私共聞ク所ニ依リマス、凡ソ六割位ノモノハ斯ウ云フ關係ノ方面ニ左右サレテ居ルト云フコトヲ聞クノデアリマス、然リト致シマスルナラバ、此恩給法ガ折角十一條ト云フヤウナ規定ヲ設ケテ此弊風ヲ豫防シヨウト云フ目的ガ、全然實際ニ於テ背馳サレルコトニナルノデアリマス、實際受給者モ一時ノ金ニ困ッテヤルノデハアリマセウケレドモ、却テ高利ノ金ノ抵當ニ充當サレテ、恩給ノ恩典ニ浴スルコトガ少イ、又之ヲ專門ニ商賣ニシテ居ル者ガアリトスルナラバ、之ニ依ッテ甘イ汁ヲ吸ッテ過分ノ利益ヲ占メテ居ルト云フコトモ、想像ニ難クナイ

クデアリマス、此弊風ヲ防止スル方法トシテ、今回下ウ云フ風ニ之ニ對スル改正案ガ出テ居ルカ、私不敏ニシテ餘リ其點ヲ能ク知ルコトガ出来ナイノデアリマス、或ハ此點ニ付テハモウ防止ノ餘地ガナイモノデアアル、全然絶望ナリトシテハ見離シテオイデニナルノデアアルカト云フコトモ、重ネテ御伺シタイノデアリマス、ソレカラ之ニ關聯シテ先般山崎君デアリマシタカ、從來此恩給法ノ委員會ニ於ケル質疑應答マデモ引用サレテ一時賜金ト云フモノニ變ヘル御考ハナイカト云フ質問ガアツタノデアリマスルガ、恩給局長又之ニ對シテ答辯サレテ居ッタコトモ私ハ聞イテ居ッタノデアリマス、是等ノコトヲ考ヘマス、斯ウ云フモノヲ一時ニ與ヘルト云フコトニナレバ、是ガ豫防スルコトノ一ツノ方法ニモナリ、更ニ一時賜金ヲ得ルコトニ依ッテ、何カ新シキ生計ノ途ヲ講ズルコトガ出来ハシナイカ、之ヲ濟崩シニ與ヘルト云フコトハ、彼等ノ生活ヲ永遠ニ保障スルヤウナ形ニハナルケレドモ、實際ニ於テ高利貸或ハ特殊營業者ノ喰物ニナルト云フコトモアリマス爲ニ、斯ウ云フコトモ重ネテ當局ノ反省ヲ促シ、決心ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○樋貝政府委員 恩給擔保ニ對スル對策ト云フ問題ハ、實ハ可ナリ大キナ社會問題ダラウト思ッテ居リマス、ト申シマスノハ、恩給法ニ依ッテ律セラレル恩給ノミナラズ、勲章年金ニ付キマシテモ、ソレカラ其他ノ法規ニ依リマシテ與ヘラレル年金ニ付キマシテモ、同様ナ事情ガアルト思ヒマスカラ、隨テ之ニ對スル對策ヲ如何ニスルカト云フコトハ、可ナリ重要ナ問題ダト考ヘテ居リマス、恩給法改正ニ當リマシテモ、初カラ研究項目ノ是ハ重要ナル一ツト致シテ進ンデ參ッタ譯デアリマスルガ、之ニ對スル方策トシテ考ヘラレルモノハ、嚴罰ヲ以テ之ヲ禁止スルト云フコトモ一ツ考ヘラレル、ソレカラモウ一ツハ寧ロ簡單ニ此禁止ヲ解除シテヤル、是ハ能ク民間カラモサウ云フ話ヲ聞クノデアリマスルガ、恩給擔保ノ禁止ヲ解除シテヤルト云フ方法ニ出タナラバドウデアアルカト云フコトモ一ツ考ヘラレル、更ニ只今御示ニナッタヤウニ、一時金給與ニ恩給ヲ變ヘテシマッタナラバ宜イデヤナイカト云フコトモ考ヘラレル、固ヨリ一時金給與ニ總テノ年金、恩給ヲ變ヘルト致シマスレバ、擔保ノコトハ是ハ自然消滅シテシマフダラウト思ヒマスケレドモ、是ハ先日申上ゲマシタヤウナ譯デ、出来ナイト云フコトニ考ヘテ居リマス、ソコデ嚴罰スルカ、

或ハ之ヲ簡單ニ擔保禁止ヲ解除シテヤルト云フ方法ニ行クカ、何レニ行クベキデアアルカト云フコトモ考ヘテ見タ譯デアリマスルガ、是モ法ガ今日禁止シテ居リ、其行爲ヲ無効トシテ居ルニモ拘ラズ、尙且ツ擔保ニ供スル、而モ其擔保ニ供シタ結果ガ非常ナ不遇ナコトニナルニモ拘ラズ、之ヲ敢デスルト云フ所ニハ、又涙ヲ以テ考ヘテヤラネバナラヌ事情ガアルノデハナイカト云フコトモ考ヘラレマス、固ヨリ恩給ヲ貰フ所ノ權利ハ公權デアリマス、公法上ノ權利デアリマス爲ニ、一般賜金ノヤウニ自由處分ト云フコトハ無論之ヲ許ス限リデハアリマセヌケレドモ、何トカ國家ガ其間ニ介在致シマシテ、出来得ルコトナラバ國家ガ直接ニ資金ヲ以テ前貸ノヤウナ方法ヲシテ、サウシテ實際今日擔保ニ入レテ居ルヤウナア、云フ困ル状態ヲ出サヌヤウニ、積極的ニシテヤッタ方ガ宜イト云フコトモ考ヘル、若シ國家自身ガ十分ノ資力ガナイナラバ、他ノ資力ヲモ使フコトニ致シマシテ、サウシテ國家ガ嚴重ナル監督ノ下ニ、公正ナル立替ヲシテヤルト云フコトモ考ヘラレマス、寧ロ其方法ニ依ル方ガ宜カラウ、一般ニ擔保禁止ヲ解除スルト云フコトニ致シマスルト、利益ノアル分ダケハ利喰ヒ致シマス、今日

高利貸ノヤルノハ將ニソレデアル、身體ノ弱イ者トカ、老齡ニナツタ者トカ云フ者ハ、保險ガ付ケラレマセシ、弱體保險ト云フモノガアリマシテモ、今日マダ日本ニ制度ガナイシ、日本ノ保險會社ダケデ弱體保險ヲスルト云フコトハ一寸ムヅカシカラウト思ヒマス、ソレデ極ク老齡ノ者ヲ假ニ保險ニ取りマシテモ、其率ハ非常ニ高クナリマスルシ、又或ル年齡ニナリマスレバ是モ取ラスト云フコトニナリマスルシ、其他ノ事情モアリマシテ、有利ナモノダケハ擔保ニ取ルカ立替ハスルガ、不利益ナモノハ其儘殘シテ置ク、其所謂不利益ト云フモノハ年取ッテ居ルトカ、或ハ恩給ヲ持ッテ居リマシテモ、自分ガ病氣ニナリ、家族ガ病氣ニナルト云フヤウナ憐レナ者ガサウ云フ融通ノ途ガナイト云フコトニナリマス、假ニ融通ノ途ヲ拵ヘタトシテモ、其條件ハ非常ニ不利益ナモノニナリマスカラ、之ヲヤルナラバ打ッテ一丸トシテ、全受給者ニ付テ、一方ニ於キマシテハ多少ノ損失ガアリマシテモ、他ノ方面ノ餘裕ヲ以テ之ヲ埋メルト云フコトニ致シマシテ、全體ヲ一丸ト致シマシテノ制度トスレバ、或ハ是デヤッテ行ケルノデハナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、寧ロ積極的ニサウ云フ風ニシテ受給者ノ便利

ヲ圖リマスルナラバ、是ハ丁度一時金ヲヤルノト同ジヤウナ作用ヲ致シマスルシ、諸般ノ事情ニ於テ受給者ニモ便利デアリ、實際ノ結果ニ於キマシテ恩給ヲ増額シテヤッタト同ジヤウナ作用ヲ爲シテ參リマス、サウ云フ方法ヲ講ジテ見タイト云フ考モ實ハアリマス、目下ソレニ付キマシテハ計數的ナ計算其他資金ノ計算ト云フヤウナ、又財源ヲ何レノ所ニ求メルカト云フヤウナ、諸般ノ事情ヲ考慮致シマシテ、段々一步々ト研究ヲ進行致シテ居ル次第デアリマス

○宮澤委員 私等ノ豫期シテ居リマスル所ニ大分御考ガ及ンデ居ラレルコトヲ喜ンデ居リマスガ、併ナガラ實ハ今仰セノ通り、國家ガ支給シテ居ル恩給デアリマスガ故ニ、金ニ窮シタ者ニ對シテハ國家ガ何カノ財源ヲ以テ之ヲ救済スル、之ヲ擔保ニ取ルト言ヒマスカ、之ヲ引當テニ國家ガ金ヲ融通ヲシテヤル、其償還方法ハ國家ガ支給スベキ金ヲ支給シナイデ、差引イテ行ケバ宜イノデアリマスカラ、是ハ普通ノ低利資金ノ融通ナド、違ッテ、損失補償ノ問題モ自然起キナイダラウト思ヒマス、尤モ死亡其他ノ事項ニ依ッテ受給資格ヲ喪失致シマスヤウナ場合モアリマセウカラ、斯ウ云フ危険モ多少アルニハアルダラウト思ヒマスガ、

併シ是モ今ノ低利資金ノ融通ヲスル者ニ較ベレバ、私ハ其危險率モ少イデハナイカト思フノデアリマスカラ、例ヘバ大藏省ノ預金部ノ金ノ如キ、其金ヲ一時恩給ヲ引當テニ融通シテ、サウシテ年々ノ支給額カラ預金部ノ方ニ廻シテ行クト云フヤウナ方法モ、一ツノ恩給受給者ニ對スル資金ノ融通トモナリ、又高利貸ニ寄メラレルコトカラ救済スル一ツノ策デナイカト思ッテ居リマス、當局ニ於キマシテモ茲ニ意ヲ致サレマスコトハ、非常ニ喜バシイコトデアリマスルケレドモ、何卒之ニ付テ今一段ノ御研究ヲ願ッテ、實現サレルヤウ御願申シテ置キマス、更ニ關聯シテ私思ヒマスノニ、此恩給ニ對シテ辭退スルコトデアリマス、承リマス今迄ニ唯一人ノ例ガアッテ、而モ其例ハ辭退スルノ動機ガ不純デアッタカノヤウナ風ニモ拜聽致シタノデアリマス、併シ何レニシマシテモ正面カラ辭退ト云フ言葉ヲ申出マセヌデモ、乃木大將ノ如キ之ヲ請求ヲナサラスデ、時効ニ依ッテ權利ヲ拋棄ナサツタ、是ハ一種ノ何ト申シマスカ、消極的辭退ト申シマスルカ、合法的辭退ト申シマスルカ、御辭退ニハ違ヒナイ、斯ウ云フ風ノ篤志ノ人ガ相當アルダラウト思フ、況ヤ國家ガ非常ナ財政難ニ陥ッ

テ居リマス際ニ、國民ハ粒々タル辛苦ヲシテ溜メマシタル金ヲ國家ニ獻金致シマシタリ、或ハ小學生徒ガ小遣ヲ貰ヒマシタ金ノ一部、或ハ經木眞田ヲ編ンデ蓄ヘマシタ金ノ一部ヲ國家ニ獻金シ、此非常時局ヲ救済スルト云フ風ナ、非常ニ愛國的ノ美風ガ隨所ニ現レテ居ル今日デアリマスルカラ、恩給受給者ノ中ニモ相當愛國心ニ燃エテ居ル人ガアッテ、此金ヲ一部デモ國家ニ獻金スル、或ハ給與ヲ拜辭ヲシテ此時局ヲ救ヒタイト云フヤウナ、愛國至誠ノ觀念ニ燃エテ居ル人ガ私ハ少クナカラウト思フ、之ニ備ヘル途ト致シマシテ、何カ今回ノ改正規定ニ於テ、サウ云フ風ナ意味ノ御改正ノ規定ガ茲ニ挿入サレテ居リマスルカドウカ、私一瞥致シマシタケレドモ、私ニハ見當ラヌノデアリマスガ、若シ私ガ一瞥致シマシタ通り、其規定ガナイト致シマスルナラバ、例ヘバ此十一條デモ宜シイデスガ、何條カノ終リニ恩給受給者ハ其恩給ノ一部又ハ全部ヲ辭退スルコトヲ得ト云ツヤウナ、任意規定ヲ挿入スルコトニ依ッテ、此美風ヲ誘致シ、助長スルヤウナ御考ニ出ラレル御考ハアリマセヌカ、是ハ私ハ相當重要ナ問題ダラウト思フ、之ニ依ッテ何モ受給者ヲ強要スル意味デハアリマセヌデ、任意ニ斯ウ云フ

愛國心ヲ誘致シ、若クハサウ云フ心持ヲ持ッテ居ル人ヲ誘フ途ニモナッテ、又國家ノ財政ノ一部ノ緩和ニモナルノデハナイカ、又其金ノ一部ヲ以下級受給者ニ社會政策的ニ施ス餘地モ、財政的ニ持チ得ルコトニナリハシナイカト云フコトヲ思フノデアリマスガ、重ネテ當局ノ御意見ヲ拜聽致シタイ

○**樋貝政府委員** 只今ノ點ニ付キマシテハ、今回ノ法律案ニハ何等文字的ニハ現シタモノハアリマセヌ、併シ權利者ガ其權利ヲ拋棄シ得ルト云フコトハ、公ノ利益ノ爲ノ法律ノ制限ガナイ限りハ、一般ニ認メラル、コト、考ヘラレマスルノデ、是ハ特ニ明文ハ置キマセヌデモ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜カラウト考ヘテ居リマス、ソレガ拋棄ガ出來ナイ、又ハ拋棄ガ許サレナイト云フ爲ニハ、ソコニ特別ナ法條ノ存在スルコトヲ必要ト致スグラウト考ヘテ居リマス、特ニサウ云フコトノ趣旨ガ窺ハレナイ限りハ差支ナイ、恩給ニ於キマシテハ請求シナイデ置ケバ時效ニ掛ルト云フヤウナ規定モアリマスノデ、法規ハ原則トシテ自由デアルト云フ風ニ考ヘテ宜シカラウト思フノデアリマス、唯能ク其理論ヲ部分的ニ取りマシテ困ルノデアリマス、ソレハ或ル在職年數ヲ入レルト入レヌトニ依ッテ自分ノ利害

ガ分レルヤウナコトガアル、或ル在職年數ヲ基礎在職年數ニ通算シナイ方ガ利益ノ場合ガアル、サウ云フ場合ニ其部分ダケヲ拋棄スルト云フ蟲ノ好イノガ随分アル、是ハ法ノ大趣旨カラ申シマシテモ許サレルモノデナイト思フノデアリマス、併シ全體ノ權利ヲ拋棄シ得ルコトハ原則的ニ自由ト考ヘマス、權利ノ一部分ヲ拋棄シ得ルカドウカト云フコトニ付テハ、是ハマダサウ確定シタ原則ハゴザイマセヌガ、全體ニ付キマシテハ、恩給權トシテハ拋棄シテ差支ナイト云フ風ニ解釋致シテ居リマス、今回ハ別ニ明文ヲ置キマセヌデモ差支ナイグラウト云フコトヲ考ヘテ、其儘ニ致シテ居リマス、更ニ之ヲ法文ニ現シテ、其拋棄ヲ刺戟スルヤウニシタラドウカト云フ、修身的ト云ッタヤウナ作用ヲ包含スル上ニ於キマシテハ、一ツノ效果ガアルカモ存ジマセヌガ、實際問題トシテハ大シテ效果モ無イグラウト云フコトヲ考ヘマシテ、今度ハ明文ニハ置キマセヌデゴザイマシタ

○**宮澤委員** 私ハ此法規ヲ用ヒズシテ、實際上ニ辭退スルコトガ出來ルト云フコトハ能ク存ジテ居リマス、又御話デモ伺ッテ居ルノデアリマス、併シ如何ニモ怠慢ニ依ッテ權利ヲ喪失スルト云フヤウナ結果ニ終ラサ

ナイデ、進ンデ之ヲ御辭退スルト云フ途ヲ開ケテ、愛國心ヲ刺戟シマスコトモ一ツノ方法デハナイカト思ヒマスカラ、是ハ一ツ御考ヘヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ高利貸征伐ト申シマスルカ、之ニ對スル方法ト致シマシテモ、今ノヤウナ規定ヲ設ケマスルト云フト、實際ニ受給者ガ斷ツ場合ニハ、此擔保力ガ常ニ動搖スルト云フヤウナコトニナリマス、ウカト斯ウ云フモノヲ擔保ニ金ハ貸セナイ、融通ハ出來ナイト云フコトニナッテ、之ヲ防止スル方法ニモナル、是ハ一ツノ修身的規定ダト仰シヤルガ、一舉兩得ノ效果ヲ持ツノデアリマス、彼此レ思ヒ合セテ斯ウ云フコトヲ當局ニ御伺シテ居ルノデアリマス、ソレデ私ノ希望トシテハ、斯ウ云フモノガ何處カヘ一項這入ッタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、重ネテ御意見ガアレバ拜聽致シタイノデアリマス

○**樋貝政府委員** 御説ヲ御參考ニ致シマシテ、將來ニ於テドウセ色々斯ウ云フヤウナ點ニ付テ絶ヘズ調査モシテ參ル積リデアリマスカラ、其際ニハ御説ヲ資料ト致シマシテ、更ニ考究ヲ廻ラシテ見タイト思ヒマス
○**横山委員** 私ハ御若イ人ニ委セテ、質問モセヌ積リデ調査モ致シテ居リマセヌガ、

御高説ヲ承ル中ニ、今宮澤氏ノ質問ニ對シテ、傷病ノ程度ガ輕カッタ爲ニ、一割減額ヲ自己ノ意思ニ依ッテ要求シテ居ッタト云フ事柄ガアリマシタガ、是ハ本人自ラノ申出デゴザイマセウカ、恩給ノ申請ヲ爲スニ付テ具申ヲスルトカ何トカ云フ官廳モゴザイマスガ、其官廳ガ調ベタ結果官廳ノ意見トシテ申出タト云フヤウナ譯デゴザイマセウカ、若シソレガ左様デナク、本人自身カラ唯ノ一割デモ辭退シテ來タト云フコトデゴザイマスルナラバ、此情義人情紙ノ如ク薄イ時代ニ於キマシテ、斯ウ云フ事ガアッタコトハ、一ツノ美舉トシテ賞揚シナケレバナラヌコトデゴザイマス、デ幸ニ其住所ト氏名ガ御洩シガ出來マスナラバ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ現在ノ恩給法ガ成立チマシタ際ニ、其既往ニ於テ傷兵ト申シマスルカ、傷イテ所謂廢兵トナラレタ後ニ、妻ヲ迎ヘラレテ子ガ生レタ、斯ウ云フ際ニ於テ其人ガ遂ニ其傷ガ因トナッテ死亡シタ、此際ニ於テハ現行ノ恩給法以前ニハ扶助料ト云フモノガ下ラナカッタノデアアルニ、現行ノ恩給法制定ニ至ッテ、扶助料ノ名義ノ下ニ此遺族ガ救済サレルコトニナッタ、斯ウ云フコトヲ承ッテ居リマスガ、果シテソレハサウナッタノデゴザイマセウカ

○編員政府委員 只今ノ傷病ノ程度ガ少シ

タ下ッテ來タカラ一割ダケ減額シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申出マシタ其本人ニ於キマシテハ、一月ノ何日デゴザイマシタカ、今ハ一寸正確ナ記憶ハゴザイマセヌガ、當時有力ナル新聞紙ガ寫眞マデ入レマシテ、美舉トシテ書立テ、居リマシタ、何ト言フ名前デゴザイマシタカ……

○横山委員 後カラデモ宜シウゴザイマス

○編員政府委員 ソレデハ明朝デモ御答致シマス、而シテ之ニハ別ニ恩給局トシテ不正ガアルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌガ、一般ニハ、サウ云フヤウナ方法デ、前ノ證券ヲ擔保ニ入レテ、直グニサウ云フ一割減ノ申出ヲシテ、サウシテ新證書ヲ要求スル一種ノ詐欺デアリマス、サウ云フコトヲ感ズルヤウナ者モアリマシタ、サウ云フ方法モ考ヘラレマス爲ニ、注意シナケレバナラスト云フコト、ソレカラ傷ガ一割程度低クナリマス、實ハ是ハ増加恩給ヲヤレナイモノデアリマスカラ、一割程度ニ止マルカドウカ、ソレモ考ヘナケレバナラヌ問題デ、サウ云フヤウナ點デ是ハ十分調査シタ上デナケレバヤレナイト云フ譯デ調査ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス

ソレカラ第二ノ御問ニ付テハ、此委員會

最初ノ時カラ實ハ色々御質問ニ預リマシタ所デアリマスガ、大正十二年前ニハ軍人ノ寡婦ハ其服役中ニ入籍シテ居テ、サウシテ兵籍簿ニ登録シタ者ダケガ扶助料ヲ貰ヘルト云フコトニナッテ居リマスガ、大正十二年以後ハサウデナシニ、死亡スル時マデニ入籍シタ寡婦ナラバ扶助料ガ貰ヘルト云フコトニナッテ居リマス、隨テ大正十二年前ノサウ云フヤウナ者ガ殘サレテ居ルト云フヤウナ状態ニナッテ居リマス、之ヲドウスルカト云フコトガ前ニモ御質問ガアッタノデアリマスガ、此數ガ中々分リマセヌノデゴザイマシテ、今回ノ恩給法改正ニ付テモ之ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付テハ、隨分考慮シタ譯デアリマスガ、之ニハ二面ノ考ヘネバナラヌ事柄ガゴザイマス、一ツハソレガ財政上ニ及ボス影響ハドンナモノデアルカト云フコトヲ正確ニ知ラヌト、政府案トシテ出シ得ナイト云フコト、ソレカラモウ一ツハサウ云フヤウニ或ル時代ニ於テ法ガ正當ナリトシテ見テ來マシタコトヲ、ソレヲ改正シマシテ、其過去ノ時代ニソレデ宜シイトシテ來タコトヲ、今度將來ニ向ッテ變更致シマスヤウナ場合ニ付キマシテハ、先程大藏當局ガ申シマシタト同ジ

ヤウニ、此給與ノ事柄ニ付キマシテハ、殊

ニ他ノモノトノ權衡ト云フコトモ考ヘナケレバナラス、今ノヤウナ者ヲ全部假ニ將來ニ向ッテ救ッテヤルトスルナラバ、ソレト類似ノ關係、又ハ縁ノ近イ關係ニアルヤウナ者モ、政府ト致シマシテハ考慮シテ行カナケレバナラス、ソレモ皆救ッテ行クト云フコトニスルナラバ、財政上ニ及ボス影響ト云フモノハ、如何ナル場合デモ非常ニ多クナルドラウ、此兵籍簿ニ載ラザル寡婦ノ場合モ同様デゴザイマシテ、之ヲ救フナラバ此方ノ方モ同ジヤウニ公平ニ救ハナケレバナラスト云フヤウナコトモ餘程アリマス、其處ノ兩面ノコトヲ如何ニスベキカ、殊ニ財政ノ方面ニドレダケノ影響ヲ及ボスカト云フコトハ、マダ分リマセヌヤウナ譯デアリマス、陸軍方面デ果シテ其實數ガドウ位アルカ、殊ニ公務傷病ニ依ッテ増加恩給ヲ貰ッタ者ノ寡婦ダケニ付テモ、セメテ調べタイト云フコトデ目下調査申デアリマス

○横山委員 實ハ私、今朝此話ヲ或人カラ

聞キマシタノデアリマスガ、現行恩給法ノ趣旨ニ依ッテ私ノ例トシテ舉ゲマシタ人々ニ對シテハ、夙ニ其事故ガ生ジテ來タナラバ、扶助料ガ給與サレテアルヤウニ承ツタノデスガ、サウデヤナイノデスカ現在ノ扱

ヒハ――

○編員政府委員 今申上ゲマシタヤウニ、

大正十二年ノ現行恩給法制定前ニ兵籍簿ニ載ラナイデ居テ、サウシテ妻デアッタ者、又ハ大正十二年後ノサウ云フ者ノ妻デアリマシテモ、ソレニ對シマシテハ扶助料ヲ給與スルノデゴザイマスガ、大正十二年前ニ既ニ其扶助條件ニナルヤウナ事情、即チ軍人ガ死ニマシタヤウナ場合、其寡婦ガ殘ッテ居ル譯ナノデアリマス、外ノ者ニ付テハ扶助料ハヤッテ居リマスノデスガ、今申シマシタヤウナ部分ガ殘ッテ居リマス、ソレノ救済ノ問題ダト思ヒマス

○横山委員 私ノ間ハント欲シマシタ問題

ニ付テ、今政府委員ガ御説明下サッタ譯デアリマスガ、其御説明ニ續キマシテ御尋シタイノデアリマス、即チ現行ノ恩給法ノ行ハレマス前ニ、單ニ兵籍簿ニ載ッテ居ナカッタト云フダケデ、扶助料ノ給與ノ恩典ニ接スルコトガ出來ナカッタ、極メテ不幸ノ人デアリマス、ソレヲ恩給法改正ノ結果ニ依ッテ、假令兵籍簿ニ載ラズトモ、戸籍簿ニサヘ載ッテ居レバ給與スルコトニナッテ、其人々ハ今日現ニ其惠ミニ浴シテ居ルト云フコトニナル、サウスレバ法律改正ノ趣旨ハ、以前ノ扱ヒハ確ニ社會ノ現狀ニ對シテ間

違ッテ居タモノデアルト云フコトヲ、國家ガ反省シタト申シマスルカ、考慮シ直シタト云フコトニナルノデアリマス、承ル所ニ依リマス、既往ニ於テ其惠ミニ浴セナカッタ所ノ人々ニ對スル金額ト云フモノハ、餘リ大シタモノデハナイト云フコトデアリマスルガ、此際ニ於テ法律ハ勿論既往ニ遡ルコトハ出來マセヌケレドモ、此趣旨ヲ加味シテ、既往ニ於ケル者ニ扶助料ハ與ヘラレヌト致シマシテモ、今日以後ニ於テ之ヲ與フルコトノ意味ニ於テ、法文ヲ若シ修正スルト致シマシタナラバ、政府ハ之ニ御同意ニナルノダラウカ、私之ヲ御伺シタイノデアリマス

○議員政府委員 サウ云フ寡婦ニ付キマシテハ、所謂後ノ鳥ガ先キニナッタト申シマセウカ、本來犠牲者デアルベキヤウナ遺族ガ、引續イテ貰ッテ居ルノモアリマス、ソレヲドウスルカト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌシ、ソレカラ又是ハ他ノ公務員ニモ關係ガアリマス申シマスルノハ、寡婦ノ扶助料ニ付キマシテハ、文官方面ニ於キマシテモ、在職中ノ妻デナケレバ扶助料ハヤラスト云フコトニナッテ居タ時代モアルノデアリマス、此數ハ非常ニ多イダラウト思ッテ居リマス、ソレデ財政上ニ及ボス影響ガ

是等ノ者ニ及ブト云フコトニナルト、非常ニ大キナモノニナッテ來ルダラウト思フ、公平ト云フコトヲ考ヘレバ、同様ニ是ニモ及バンケレバナラス、ソレカラ軍人ノ寡婦デアッテ、兵籍簿ニ載ラナカッタ者ニ、實ハ二種類アルト考ヘテ宜シイノデアリマス、一ツハ將校ナドニ付キマシテハ、兵籍簿ニ載ラザル理由ガ、其婦人ノ身分等ニ關シマシテ餘リ感心シナイト云フノデ載ラナカッタ者モアリマス、當時トシテハ軍規律ト申シマスカ、官規律ト申シマセウカ、ソレヲ正當トシタモノモアリマス、ソレカラモウ一ツハ豫備ニナッテカラ、或ハ後備ニナッテカラ細君ヲ貰ッタト云フヤウナノモアリマス、ソレ等ハ色々複雑ナ事情ガアリマスノデ、之ヲ認メルコトニナリマス、餘程是等ノ點ヲ細カニ研究シマセヌト、一寸法律ノ中ニ入レルコトハ出來マセヌ、只今申シマシタヤウニ、今回ノ案デハサウ云フコトヲ多分ニ、且ツ同情ヲ以テ考ヘテ居リナガラ、入レルコトガ出來ナカッタヤウナ譯デアリマスカラ、此際單純ナル御修正ヲ受ケマスコト、シテハ、政府トシテ同意致スコトガ出來ナイヤウナ事情デアリマス、ドウカ御諒承ヲ願ヒマス

○後藤委員 大體諸君ニ依ッテ質問モ濟ン

ダヤウデアリマスガ、二三ノ點ヲ簡單ニ質問致シマス、恩給法ノ改正ト云フコトハ、隨分久シク社會ニ於テ言ハレテ居ルノデアリマスガ、擧擧ンデソレ等ノ人々ノ多クノ議論ヲ綜合シテ見マスレバ、恩給ノ額ガ年々非常ニ増加シテ行クノデ、一部ノ人ガ言フ如ク、恩給亡國ナドト云フヤウナ極端ナコトヲ言フ人モアリマスガ、此恩給増加額ガ非常ニ多イコトニ付テ、何等カノ考慮ヲ拂ッテ、サウシテ之ヲ少クシタイト云フ希望、ソレカラモウ一ツハ、下級者ニ對スル所ノ給與ガ非常ニ少イ、此間ノ恩給局長ノ御話デハ、恩給ト云フモノハ、能力ノ減殺サレタ者ニ對スル補填ノ趣旨デアルト云フ御話デアリマシタガ、併シ實際ニハ、社會ノ人ハ單ニサウバカリ考ヘテ居ナイ、國家ニ奉公ヲシタラ、年寄ッテ罷メサセラレテモ、或ル程度ノ生活ノ保障ヲシテ貰ヘルト云フコトガ、恩給ノ意味ノ如ク考ヘテ居ルト思フノデアリマス、又外國ニ於テサウ云フコトガ恩給ノ趣旨デアルト致シマシテモ、日本ニ於テ社會ノ實情ガサウシタ方ガ宜イノナラバ、ソナナ趣旨ノミニ止メナケレバナラスト云フコトハナイト思ヒマスガ、兎ニ角下級者ハ非常ニ額ガ少イ、サウシテ上級ノ人ハ永ラク官吏生活ヲシテ、相

當ノ貯蓄ノアル人ガ多イ、又社會的ニモ罷メタカラト云フテ直グニ食ヘナクナルト云フ人デナイ、サウ云フ人ニハ非常ニ多イ、之ヲ何トカ方法ヲ付ケテ貰ヒタイト云フコトガ、今日恩給改正ノ一ツノ叫ビデアルト考ヘテ居リマス、此點ニ關シテ、モウ少シ恩給ヲ與ヘル計算ヲ簡單ニ、五階級カ六階級ニ分ケマシテ、サウシテ最小限度ノ生活、最小限度ノ額ヲ決メテ、ソレ等ノ五階級或ハ六階級ノ中ニ大體納メルト云フヤウナ、簡單ナ方法ニ分ケルコトハ出來ナイモノデアリマスガ、ソレト最高ノ恩給ヲ——今日デハ六千圓取ッテ居ル者ガ一番多イサウデアリマスガ、最高ノ恩給ヲモウ少シ低イ所ニ置イテ、三千圓トカ四千圓トカ云フ所ニ限定シテシマウコトハ出來ナイカ、斯ウ云フ風ニモウ少シ最低ノ額ヲ上セルト云フコト、最高ノ額ヲ下ゲルト云フコトト、サウシテ是等ノ人々其基礎俸給ニ依ッテ一ツ／＼當嵌メテ行クノデハナクシテ、大體ニ於テ五階級トカ、六階級ノ階級ニ分ケテ、此間ニ收メテ行クト云フヤウナ方法ニ改正スルコトハ出來ナイデセウカ、又斯ウ云フコトハ政府ニ於テ御考ヘニナッタコトハナイトデアリマセウカ、之ヲ一ツ御尋シタイ

ソレカラ更ニ附加ヘテ申上ゲタイコトハ、何故サウ云フコトヲ申スカト申シマス、現在我國ノ恩給額ハ年々増加スル一方デアッテ、非常ニ額ガ上ッテ居リマス、一億三千萬圓カ四千萬圓ニナッテ居ル、サウ云フヤウニ恩給ノ總額ハ上ッテハ行ケレドモ、實際ニ於テハ恩給ヲ折角貰テ居リナガラ、不滿ヲ懷イテ居ル所ノ下級ノ受給者ト云フモノガ、相當澤山ニアルト云フコトハ蔽フベカラザル事實ダト思ヒマス、是等ノ人ハ少額デモ恩給ヲ貰テ居レバ、國家ニ對シテ非常ニ有難イト云フ念ヲ持ツベキガ本當デアリマセウ、又サウ云フ方モ居リマセウガ、併シ實際問題ト致シマシテハ上ノ方ノ人ハ澤山貰フ、ソレ等ノ生活ニ困ラナイ人ガ澤山貰フニ拘ラズ吾々ハ常ニ食フコトモ出來ナイ、サウシテソレ等ノ人々ガ或ハ公ノ爲ニ所謂負傷ヲシタトカ、色々ナ事ニ依ッテ遂ニ社會ニ於テ働クコトガ出來ナイ、或ハ扶助料ニ於テモサウ云フ人ノ遺族ガ、洵ニ僅ナ恩給ヲ貰テ、サウシテ國家ニ對シテ恩義ヲ感じナケレバナラヌニ拘ラズ、事實ニ至ッテハ、寧ロ不滿ヲ懷ク所ノ人ガ相當澤山アルト云フコトハ蔽フベカラザル事實ト思ヒマス、斯様ナコトハ一面カラ考ヘレバ今日ノ如キ世相險惡ナ時代ニ於テハ、或ル一

ツノ動機カラ色々ノ思想問題ガ勃發シテ來ル時ニ當リマシテハ、一層思想問題ニモ關係スルコトガ多イト思ヒマス、是ハ必シモ一般ノ文官ノミナラズ、軍人方面ニ於ケル下級ノ人ニモサウ云フ不平ヲ持ッテ居ル人ガ相當ニアルト云フコトハ、兎ニ角吾々ハ認メナケレバナラヌト思ヒマス、斯ウ云フコトカラ私ハ最低限度ヲモウ少シ上ゲテ、最高限度ニ於テハモウ少シ削ッテ、簡單ニ其間ニ五ツ六ツノ階級ヲ作ッテ、其中ニ當嵌メテ行ク方ガ宜イト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ政府ノ所見ヲ伺ヒタイ、ソレカラ今回ノ改正ニ於キマシテ、扶助料ノ増額ト云フコトガ改正ノ中ニアッタト思ヒマスガ、此扶助料ノ増額ト云フコトハ、若シ傷痍公務員ガ死シタ場合ニ、五箇年間三割ノ扶助料ガ増額サレルト云フ趣旨デアルト思ヒマス、是ノ如キデモ百圓トカ、八十圓トカ或ハ百圓以上デモ宜イデスガ、兎ニ角百圓前後ノ扶助料ヲ貰ッテ居ル者ニ付テハ、其額ハ實ニ僅ナモノデアリマシテ、月ニスレバ一圓カ一圓五十錢ニシカ相當シナイ、是ハ餘リニ少額デアラウト思ヒマス、然ルニ實際ニ於テハ上級者ニナリマス、現在相當ノ額ヲ貰ッテ居ルカラ、今回ノ改正ニ依ッテ此三割ノ増額ヲシナクテモ、實際生活ノ上ニ於テハ

宜イヤウナ部分ノ人モアルト思ヒマス、ソレ等モ矢張法律ガ一律ニ改正シタ爲ニ、下級ノ方ノ人ハ三割ヲ増シテモ何等ノ恩典トデモ言フベキ程ノ實際恩典ニ浴セズシテ、上級ノ何等サウ云フ苦ミノナイ所ノ人ガ相當大キナ恩典ニ浴スルト云フ事實問題ガ、玆ニ發生ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ單ニ事務的ノ一種ノ改正ヲサレタノデアッテ、玆ニ社會政策的ノ意味ガ含マレナカッタ爲ニ、斯ウ云フ一律ノ改正ニ終ッタノデナイカトモ考ヘラレルノデアリマスガ、モウ少シ玆ニ社會的ノ實情ニ則ッテ、社會政策的ニ考慮サレル餘地ハナカッタノデアリマセウカラ御伺致シマス

第三ニハ、是ハ恩給ノ事デアリマセヌガ、恩給局長ニ聞クノカ、恩賞課長ニ聞クノカ知リマセヌケレドモ、金鷄勳章ノ事デアリマス、金鷄勳章ハ、明治二十七八年ノ日清戰爭當時ニ金鷄勳章ヲ貰ッタ下級ノ人達ニ付テ考ヘテ見マスルト、六級、七級ト云フヤウナ金鷄勳章ノ年金ト云フモノハ僅デアリマス、是ハ必シモ恩給ト違ヒマシテ、金鷄勳章其モノガ國家ノ殊勳者ニ與ヘタ表彰デアリマスカラ、年金ニ付テハ大キナ意義ガナイノデアルカモ知レマセヌガ、併シ明治二十七八年當時ノ其額ニ於テ金鷄勳章ガ貰

ハレテ居ッタノ今日トハ、社會的ニモ又經濟的ニモ、非常ニ國家ノ事情、社會ノ事情ガ違ッテ居ルノデアリマスガ、是等ノ金鷄勳章等ニ對シテハ何等改正スルトカ、考慮ヲサレル必要ハナイモノデアリマスガ、此三點ニ對シテ御伺致シマス

○樞員政府委員 御尋ノ點ニ付キマシテハ、所詮ハ分配ノ問題デアラウト考ヘテ居リマスガ、所謂先取特權ト云フヤウナ思想ヲ以テ之ニ臨ムベキカ、或ハ生存權ト云フヤウナモノヲ以テ之ニ臨ムベキカト云フ事柄ニナルグラウト思ヒマスケレドモ、政府ガ恩給ニ對シマス態度ハ其何レニモ偏シマセヌ、今回ノ恩給改正案ハ社會政策的デナイト云フコトヲ御話ニナリマスガ、何方カト云ヘバ社會政策的の意味ヲ多分ニ加味シテ居ルト私ハ信ジテ居リマス、其程度ガ非常ニ微溫のデアルト云フコトニ付キマシテハ、私等モ亦ソレヲ認メテ居リマスケレドモ、社會政策的の意味ヲ加味スルコトニ於キマシテハ、今迄ノ恩給法改正ノドレヨリカモ寧ロ多イデハナイカト云フコトヲ私ハ感じテ居リマス、ソレデ御尋ニナリマシタ具體問題デゴザイマスガ、全部數階級ニ分ケテ恩給ヲヤルヤウニシタナラバドウカ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマスガ、此點ニ付

キマシテハ實ハサウハ參リマセヌノデ、階級ノ分ケ方ニモ依リマスガ、非常ニ大難把ニ分ケマス、在職中ヨリカモ退職シテ恩給ヲ貰フ方ガ多イト云フ場合ガ生ズルダラウト思フ、ソレカラソレヲ非常ニ少ク致シマスルト、殊ニ其境目ニ居リマスル所ハ、現在ノ恩給額ヨリモ低イモノヲ貰フト云フヤウナ場合、其境目ガ自然的ニ出來ルモノト違ヒマシテ、人工的ニ階段ヲ作りマス、不條理ノ場合ガ何時モ其境目ニ生ズルノデアリマス、現在此恩給法ニ於キマシテ不具癡疾ノ程度ニ達シタ者ト、サウデナイ所謂一款症、二款症ト申シテ居リマスガ、サウ云フ者トノ間ノ開キガ何時モ大キイノデハナイカト云フ御叱リヲ受ケマスガ、是ハサウ云フヤウニ段階ヲ設ケタガ爲ニ生ズル缺陷デアル、此段階ヲ設ケマスニ付テ、非常ニ澤山ノ段階ヲ設ケルコトヲ考ヘテモ亦考ヘラレナイデモアリマセヌガ、サウスレバ現在ト餘リ違ヒハアリマセヌ、ソレカラ下ノ者ニ薄イト云フコトヲ申サレテ居リマスガ、俸給ナドニ付キマシテハ、減俸ニ於キマシテモ増俸ニ於キマシテモ、絶ヘズ下方ニ幾ラカ厚クスルト云フコトヲ心懸ケテ居リマス、是ハ事實ガサウナッデ居リマスカラ、御承知ドラウト思ヒマス、サウ云フ

モノヲ基準ニシテ、恩給ハサウ云フ「スライデング・スケール」ヲ以テ恩給額ヲ決メテ參リマスカラ、事實ハ絶ヘズサウ云フモノニ依ッテ矯正サレテ居ル次第デアリマス、固定のニ定金額幾ラト云フコトニ決メヨウト致シテモ、サウ云フ風ニ參リマセヌノデ、恩給ノ表ニナリマシタヤウナモノニ付キマシテハ、是モ絶ヘズサウ云フヤウナ思想デ改正スルコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フヤウナ譯デ、殊ニ階級別ニ依ッテ普通ノ恩給ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ結果ニ於キマシテ必シモ公平デモアリマセヌシスルカラ、又今申シマシタヤウナ事情モアリマスカラ、階級別デ恩給ヲヤルト云フコトニ致ス積リハアリマセヌ

ソレカラ恩給ヲ貰ヒナガラ不滿ヲ懷ク者ガアルガ、サウ云フ者ニ對シテハ、矢張今ノ階級別其他ノ方法ニ依ッテ不滿ヲ懷カヌヤウニスル方法ハナイカト云フ御尋ノ點ハ、成ベク總テノ人ガ不滿ヲ懷カヌヤウニヤリタイ譯デアリマスケレドモ、是モ最初ニ總論的ニ申上ゲマシタヤウニ、各人ガ全然不滿ヲ懷カズ、誰モガ満足スルヤウニ恩給ヲヤリマスナラバ、是ハ財政ノ上カラ言ッテ到底堪ヘラレナイト云フコトニナリマセウシ、ソレカラ又財政ノ方ヲ考慮致シマシ

テ給與致シマスレバ、ドウシタッテ不滿ハ免レナイト云フコトニナリマス、現在ノ俸給自身ニ於キマシテモ、又官公吏以外ノ者ノ受ケル所ノ收入ナドニ付テ見マシテモ、是ハ免レ得ナイコトデヤナイカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居リマス、此恩給ニ關スル財政狀態ヲ考慮致シマス、現在ノ程度ニ止メルヨリ外ハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ傷病者ノ遺族ノ扶助料ニ付テ、今回三割ヲ増シテ居ル、ソレヲ一樣ニ三割ヲ増ス、五年間三割ヲ増スト云フノデハ、下給ノ者ハ此金額ノ額ガ少イノデハナイカ、上ノ者ノ額ガ多クハナイカ、同ジク三割ト云ヒナガラ額ガ多イデヤナイカト云フコトニ付テ、何トカ考慮シナイカト云フ御話デゴザイマスガ、三割ハ無論少イト云ヘバ無論少イカモ存ジマセヌ、先程申シマシタヤウニ、誰モガ満足スルヤウナ程度マデ參レバ是ハ結構デアリマスガ、財政ノ方ハ到底負擔ニ堪ヘナイト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、此三割ハ少イト言ヘバ少イ譯デアリマスガ、ソレナラバ下ノ者ダケニ餘分ノ割合デヤラシタラドウカ、此下ト申シ上ト申シマシテモ、是モ區切りノ程度デアリマスガ、現在ヤッデ居リマス所ノ恩給ガ先程申シマシタヤウナ譯デ、階級ニ分ケナ

イデ自然的ニ出來テ居ル、日本ノ經濟力ヲ標準ニシテ參リマス建前カラ致シマシテ、此分ダケヲ上ニ薄ク、下ニ厚クト云フコトニ建替ヘマスルコトハ、外ノ規定トノ調和ヲ全ク害スルコトニナリマシテ、是モ爲シ得ナイコトデアルト實ハ考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デ、今御尋ノ點ニ付キマシテハ、ソレヲ全然今迄ウツカリシテ居タノデハ無論アリマセヌケレドモ、考ヘタ末ニ、是ヨリ外ニハ仕方ガナイト云フ風ニ實ハ思ッテ居リマス、御趣旨ノアリマスル所ハ、無論共鳴致ス所モアリマスガ、今言ッタヤウナ事情デ、恩給法トシテ規定致シマスニハ、是デ已ムヲ得ナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○中井陸軍歩兵大佐 金鷄勳章ノコトニ付テ御答申上ゲマス、金鷄勳章ノ年金ノ増額ト云フコトニ付キマシテハ、今日マデ可ナリノ運動ノアルコトデアリマシテ、其請願モ出テ居ル次第デアリマス、就キマシテハ去ル昭和四年カラ五年ニ掛ケマシテノ兵役義務者及廢兵待遇審議會ニ於キマシテ、是等ノコトニ付テ十分ニ審議ヲ盡クサレマシタ結果、金鷄勳章年金ノ増額ハ必シモ其必要ヲ認メザルモ、是ガ精神的待遇ヲ向上セシムル爲メ必要ナル施設ヲ爲スコトガ必要

デア、斯ウ云フ風ナ答申ヲ得テ居リマス、陸軍當局ト致シマシテハ、此答申ヲ尊重スルコトガ適當ト考ヘマシテ、今日マデ其方針ヲ以テ進ンデ居リマス、金鵄勳章叙賜條例等制度其モノ、改正等ニ付キマシテハ、今日其議ハゴザイマセヌ、現在ノ制度ハ明治大帝ノ大御心ノ御發露ト考ヘマシテ、私共造次顛沛之ヲ遵守致シテ居ル次第デアリマス

○後藤委員 私ノ質問ハ大體終ッタノデアリマスガ、尙ホ此恩給法ノ根本的改正ト申シマスカ、私ノ只今申シマシタヤウナ意味合ノコトハ、是ハ技術的ニドウナルカト云フコトモ、吾々ハ其對策ヲ有ッテ居ル譯デハアリマセヌ、併シ是ハ單ニ私一人ノ希望デナクシテ、斯ウ云フ希望ヲ以テ恩給法ノ改正ヲ望ンデ居ル者ガ相當アルト考ヘテ居リマス、ドウカ一ツ此恩給法ニ對シテハ、モウ少シ根本的ニ從來ノ型其モノヲ保存スルト云フコトヨリモ、社會ノ實情ニ適合スルヤウニ改正スル爲ニ研究シテ戴キタイト云フコトヲ御希望申上ゲルノデアリマス、尙ホ先程宮澤君ノ御述ニナリマシタコトハ、私モ申上ゲタイト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、宮澤君カラ御尋ガアリマシタ今ノ恩給ノ辭退ト云フコト、是ハ恩給局長ヨリ段

段御説明ガアリマシタガ、法文ノ中ニ何モナイ場合ニハ、ソレヲスルコトガ出來ナイト考ヘテ居ル人モアルガラウト思ヒマス、又サウ云フ奇特ナ志ヲ有ッテ居ッテモ氣付カナイ人モアルト思ヒマス、斯様ナ國家ノ財政上非常ニ窮乏ノ時デアリマスカラ、サウ云フ方面デ生活ニハ非常ニ潤澤デアル、而シテ恩給モ相當ニ貰ッテ居ル、斯ウ云フ人ハ成ベク自發的ニ恩給ノ辭退ヲシテ貰フト云フコトモ非常ニ結構ナコトデアリ、又社會ノ美風ト申シマスカ、我ガ麗シイ國民性ノ發露ノ上ニモ非常ニ貢獻スル所デアリマスカラ、是非トモソレハ法文ノ中ニ適當ナ條文ヲ一ツ挿入シテ戴キタイト云フコトヲ私ヨリモ希望スル次第デアリマス、是デ終リマス

○津崎委員長 川口君何カ御質疑ガアリマスカ

○川口委員 モウ宜シウゴザイマス

○匹田委員 極ク簡單ニ申上ゲマス、大體質問モ殆ド爲シ盡サレタヤウデアリマス、今最終ニ宮澤君、後藤君カラモ御話ガアリマシタ恩給辭退、是ハ相當ニ豐カナ收入ガアッテ、其上ニ恩給ヲ貰ッテ居ル者モアルノデアリマス、斯ウ云フ者ガ法文ノ上ニ辭退ノコトガアリマセヌト、唯拋棄スルト云フ

コトニシテ、取りニ行カナイ人ガアルガラウト思ヒマス、乃木大將ノ如ク辭退ト云フコトヲ殊更ニ申出デナイデ、唯取りニ行カナイ、斯ウ云フコトデアリマス云フト、何ダカソコガ甚ダ徹底シナイヤウデアリマス、茲ニ何カ法文ノ上ニ辭退スルコトヲ得ルト云フコトガ書イテアリマス、ソレニ依ッテ愛國心ニ富ンダ所ノ人ハ續々トシテ

辭退ヲ申出ルカモ知レヌ、併ナガラ寄附金ヲシタ者ニ對シテハ國家ハソレニ對シテ表彰ノ方法ガ立ッテ居ル、單ニ恩給ヲ取りニ行カナイ、恩給權ヲ拋棄スルト云フダケデハ何等表彰ノ途モナイノデアアルガ、私ハ斯ウ云フ機會ニ於テ恩給ヲ辭退スル美風ヲ盛ナラシメンガ爲ニ、此議會ヲ通ジテ受恩給者ノ中デ、收入ノ豐カナ者ニ對シテ、續々恩給ヲ辭退スルト云フ風ニ獎勵シタイト思フ、而シテ之ニ對シテ政府ハ何等カ表彰ノ途ヲ講ゼラレルトコトガ又適當デアラウト思フ、斯ウ云フ點ニ付テハ、ドウシテモ法文ノ中ニ何カ辭退スルコトヲ得ルト云フコトニナッテ居ラヌト云フト、唯拋棄シタト云フダケデハ中ニハ本當ニ辭退スル意味デ拋棄スル者モアリマスシ、又行方不明ニナッテ取りニ行カナイ者モアリマスカラ、其區別ガハッキリシナイ、ドウシテモ此點ヲ明ニシテ、

恩給ヲ辭退スルト云フ美風ハ獎勵シタイト思フノデアリマス、之ニ付テ何カ政府ノ方デ御考ガアリマスレバ一寸承リタイ

○樋貝政府委員 實ハ愚カナ話デアリマシタガ、今マデ恩給辭退ト云フヤウナコトハ先程申上ゲマシタノハ、昨年末ニ一件アリマシタダケデ、曾テ純粹ナ辭退ガアリマセナカッタ爲ニ、ソレニ對シテ恩賞ヲドウスルト云フ程度マデハ考ヘテ居リマセナカッタノデス、併シ若シ辭退ヲシテ來ル人ガアリマスルナラバ、先程申シマシタヤウニ、ソレニ依ル或ル種ノ犯罪等ガ考ヘラレル場合デナイ限りハ、喜ンデ其權利拋棄ヲ受ケタイト考ヘテ居リマス、又現行法デ受ケ得ルト考ヘテ居リマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ法律デソレヲ極メルト云フヨリモ、寧ロ社會的ニ之ヲ公表致シマシタ方ガ、本人モ嘸満足スルコトデゴザイマセウシ、世ノ人心ヲ益スルコトモ多イガラウト考ヘテ居リマス、若シサウ云フヤウナ事柄ガアリマスレバ、ナマナカ少シ位ナ、例ハバ徽章ヲヤルトカ、或ハ賞狀ヲ出スト云フコト以上ニ效果ノアル所ノ、社會ニ向ッテ之ヲ公表スルト云フヤウナ方法ヲ執ッテ見タイト考ヘテ居リマス、只今ノ所デハ其程度デ宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○後藤委員 是ハ是非私モ此事ハ御尋ラシ希望シタイト思ッテ居ッタノデアリマスケレドモ、若シ吾々ニ於テ之ヲ修正スルト云フヤウナ場合ニハ、政府ハ同意ヲサレマスカ一寸其點ヲ伺ヒマス

○樋口政府委員 強ッテ反對モ致シマセヌガ、特ニ御修正ニナルヤウナ實質的關係モ實ハナイヤウニ思ヒマスルガ、寧ロ法律ヨリカモ別ノ方法デ其表示ノ方法ヲ講ジタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、場所ハ恩給法中ニ置カナイヤウニシテ戴キタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス

○津崎委員長 一寸御尋シマスガ、現行法デ法規ノ上デ辭退ガ出來ルト云フ御解釋デスカ

○樋口政府委員 サウデス

○宮澤委員 只今恩給局長カラ現行法ニ於テ辭退シヨウト思ヘバ出來ルト云フコトノ御話デアリ、私ニ對スル御答辯モサウデアッタノデアリマスガ、是ハ私モ能ク存ジテ居リマス、現行法ニ於テ何等差支ゴザイマセヌケレドモ、斯ウ云フ規定ヲ設ケテ居リマスルコトガ、今ノヤウナ美風ヲ誘致スルコトニナリハシナイカト私ハ思フノデス、デ匹田君カラ御話ガアリマシタ通りニ、現行法デ辭退致シマスルコトハ如何ニモ怠慢

デ、所謂時効ニ掛ッテ受給ヲ喪失シタヤウナコト、同ジヤウナ結果ニモナリマスルシ、又行方不明ニナッテ受給ヲ要シナカッタト云フヤウナモノトモ同一視サレルコトモアリマスルシ、隨テ愛國心ノ發露カラ斯ウ云フ風ニヤリタイト云フ人ニハ、斯ウ云フ途ヲ法規ノ上ニモ明瞭ニ示シテ置クコトガ私ハ必要デハナイカト思フノデス、恩給局長カラ只今御話ノヤウニ、或ハ徽章ヲヤルトカ、賞狀ヲヤルトカ云フヤウナコトヲシナイデモ、此辭退者ニ對シテハ社會ニ公表スルコトニ依ッテ云々ト云フ御話モアリマシタガ、是モ無論併用シナケレバナラヌト思フガ、斯ウ云フヤウナ規定ト相俟ッテ斯ウ云フヤウナ手續ヲ踏ンデ、此奇特者ヲ表彰シ、サウシテ斯ウ云フヤウナ美風ヲ誘致スルコトハ洵ニ必要デアリマスカラ、兩々相俟ッテ斯ウ云フヤウナ方法ヲ御執リニナルコトガ極メテ機宜ニ適シタ措置ナリト私共ハ信ジテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ希望ハ殆ド滿場一致ノ希望デアルヤウニ、今空氣ヲ見テ拜察スルノデアリマスカラ、願クバ政府モ之ニ同意セラレ、サウ云フ規定ノ挿入ニ御賛成下サルヤウニ希望申シマス

○樋口政府委員 一寸ソレニ付キマシテ、進ンデソレニ御同意致シ兼ねル所以ヲ、少シ細イ所ニ入リマスガ、申上ゲマス、例ヘバ扶助料ハ第一順位者トシテハ寡婦ガ受ケマス、第二順位者トシテハ未成年ノ子供ガ順次受ケマス、第三順位者トシテ父母ガ受ケマス、更ニ祖父母ニ及ブヤウニナッテ居リマス、斯ウ云フ寡婦ニ付キマシテモ、人ニ依リ色々アリマスノデ、子供ニ對シテハ繼母デアアルモノモアリマセウシ、又同ジ子供ノ中ニ於キマシテモ互ニ嫉視シテ居ルヤウナ場合モアリマセウシ、又自分ノ受給期間ガ可ナリ盡キル頃ニナッテ拋棄サレマス、他ノ者ガ非常ニ迷惑致ス場合モアリマス、ソレカラ寡婦ノ例ニ取リマシテ自分ガ他ヘ縁ヅカウト云フヤウナ場合ニ拋棄ヲシテ行クト、後ノ者ハ貰ヘナイト云フコトニナリマセウシ、ソレカラ又後ノ者ニハ其扶助料ヲ引續イテヤルノダト云フコトニナレバ、拋棄シタイコトハ唯名儀ダケデアッデ、事實ハ支給シテ行クト云フコトニナリマス、此寡婦ノ扶助料ト舅ト云フモノノ間ニ於キマスル鬭爭ハ可ナリ醜イモノガアリマシテ、想像以上ノ戰術ヲ以テヤッテ居ルト云フコトガ現ニ私ノ手許ニアリマス陳情等ニモ隨分アリマス、ソレデ簡單ニ恩給ヲ受ケル權利ハ拋棄スルコトヲ得トダケデ出サレマスコトハ、是ハ法律デアリマスカラ、

ソレ等ノコトニ影響スル所ガ大キイノデアリマシテ、サウ云フ點ヲ盡シテデナイト、全體ノ御趣旨ニハ無論賛成デアリマスガ、サウ云フ技術的ニ諸般ノコトヲ考慮シタ上デナイト、直チニ之ヲ法律ノ上ニ現ハスコトハ御賛成致シ兼ルヤウナ次第デアリマス、決シテ御趣旨ニ反對スル意味デハアリマセヌ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、此法律手續ノ方法ニ於テ色々方法ヲ講ジマセヌト、是ガ法律デアアル爲ニ、動キガ取レヌヤウナ場合ガ生ジテ參リマス

○宮澤委員 今特殊ノ事例ヲ引用ニナッタノデアリマスケレドモ、私ハ之ニ對シテモ救済規定ハ又備ヘルコトガ出來ルデアラウト思フ、斯ウ云フ特殊ナ場合ヲ想像シテ、斯ウ云フ大切ナ機宜ニ適シタ規定ヲ茲ニ挿入スルコトヲ控ヘルト云フコトハ、是ハドシテ弊害ガアルナラバ、此弊害ヲ除去スルコトヲ茲ニ關聯シテ設ケテ差支ナイノデアリカト思フ、大體ニ於テ斯ウ云フモノヲ設ケルコトニ依ッテ、國家ガ幾分財政的ニ救済スルコトガ出來、又之ヲ受給者ノ立場カラ言フナラバ、斯ウ云フ餘剩財源ニ依ッテ、又低級ナル受給者ニ對スル受給ノ恩澤ヲ期スルコトガ出來ルカト思ヒマス時ニ、是ハ

一舉兩得デハナイカト思フ、特殊ノ場合ヲ考ヘル時ニハ何事モ出来マセヌ、是ハ良イコトデアルカラ、進ンデヤルト云フコトガ、寧ロ恩給局トシテ當然取ルベキ途デヤナイカト思フノデス、少數ノ弊害ハ已ムヲ得マセヌ、又之ヲ避ケル方法ハ幾ラモアルドラウト思フ、尤モ是ハ規定デアリマスカラ、慎重ニ當局者ノ意見モ聴キ、能ク協議シナケレバナラスト思ヒマスカ、今ノヤウニ特例ヲ以テ全體ヲ葬リ去ルト云フコトハ、大ニ考フベキコトデヤナイカト思ヒマス

○**樋貝政府委員** 現在ノ恩給法ニ於キマシテ、サウ云フ法規ガ全然ナイノデアルナラバ、法律明文ニ現ハシマシテ、サウ云フコトヲ規定シナケレバナラスト云フ緊急ナ必要ニ迫ラレマスカ、サウデハナイト解釋シ得ルコトハ先程カラ申シマシタ通りデアリマス、明文ヲ置キマシタ爲ニ動キノ取レヌヤウナ場合ガアリ、今即座ニ考ヘマシタ點ニ付テモ故障ヲ生ジテ參ルヤウナ譯デアリマスカラ、政府ト致シマシテハ、其明文ヲ法律ノ上ニ置カナイデ戴キタイト云フ風ニ實ハ考ヘマスノデ、法文ヲ置キマシタ其效果ハ宣言的ナ效力ヲ持ツト云フコトニ過ギマセヌカラ、其效力ハ非常ニ大キイト思ヒマスケレドモ、併シ今申シマシタ直グ思付

テモ二三ノ點ニ故障ヲ生ズルヤウナ法律ニナリマスコトハ、技術的ニ考ヘマシテモ甚ダ困リマスノデ、其點ヲ假ニ法文ヲ御置キニナルトスルナラバ、技術ノ點ニ付テ、十分ニ考慮シタ上デナイト政府當局トシテハ困リマス、デ重ネテ御答シナガラ同時ニ御再考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○**宮澤委員** 然ラバ今ノヤウナ法規ヲ決メルト共ニ、其救済規定モ御考ヲ願ヒタイ、サウシテ成ルベク吾々ノ期待ヲ法文ノ上ニ現シテ行キタイト云フヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、玄人デアラセラレレ恩給局長ニ於テ、サウ云フ缺陷ガ生ズルト云フナラバ、其缺陷ヲ救済スル救済規定モ同時ニ御考慮ヲ願ッテ、成ルベク多數ノ意見モ此法文ノ上ニ現ハシテ行クヤウニ御協力ヲ願ヒタイト思ヒマス、希望ヲ申上ゲテ置キマス

○**津崎委員長** 質疑ハ今日デ終リニシタイト思ヒマスカ、各黨派ノ意見モ定メナケレバナラスト思ヒマスカラ明日、明後日ハ休ミマシテ、其間ニ意見ヲ定メルコトニ致シマシテ、サウシテ六日月曜日ノ午後一時カラ尙ホ質疑ノ殘ッタモノガアルナラバソレヲ繼續シテ、出来マスナラバ當日本案ノ決定ヲ致シタイト思ッテ居リマス、但シ他ニ色々ナ都合デ當日決定スルコトガ出来ナケ

レバ、日ヲ延バシマスケレドモ、大體ノ豫定ヲ今日ハ決メテ置キタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時二十二分散會

昭和八年三月二日印刷

昭和八年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所